

教科	国語	履修学年	3	教科書 (出版社)	探求 論理国語(桐原書店) 文学国語(筑摩書房)
科目	現代文Ⅱ	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新版 品詞別頻出漢字マスター3000(尚文出版) 読解を深める現代文単語評論・小説 改訂版(桐原書店) 2025共通テスト対策【実力養成】重要問題演習 現代文 (ランズ) リテラ 速読レッスン 論理vol. 3(文英堂) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店)
単位数	3				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての時間を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度や、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期	考査
		知	思	主	
評論Ⅰ ・オブジェとイマージュ (高階秀爾)	<ul style="list-style-type: none"> 二項対立による比較対照に着目し。評論の読み方に習熟する。 著者の主張を踏まえて、自分自身が芸術に触れる際の感性を磨く。 	知	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。		
		思	主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。		
		主	イマージュの世界が人間のイメージネーションに訴える力を持っているという筆者の考えについて、自分の考えを深めるとともに、的確にまとめようとしている。		
小説(一) ・舞姫(森鷗外)	<ul style="list-style-type: none"> 語りの時制や文体・時代背景なども意識して、物語を読み味わう。 2年次に学習した夏目漱石『こころ』と読み比べて、「明治」という時代の特徴について理解する。 	知	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	4	一学期中間考査
		思	<ul style="list-style-type: none"> 構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 	5	
		主	<ul style="list-style-type: none"> 教材の内容に関心を持ち、学習の見通しを持って言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 言葉を通して積極的に社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 	月	

<p>小説(一)</p> <p>・舞姫(森鷗外)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・語りの時制や文体・時代背景なども意識して、物語を読み味わう。 ・2年次に学習した夏目漱石『こころ』と読み比べて、「明治」という時代の特徴について理解する。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。</p> <p>・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。</p> <p>・教材の内容に関心を持ち、学習の見通しを持って言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。</p> <p>・言葉を通して積極的に他者社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>5 ～ 7月</p>	<p>一 学 期 期 末 考 査</p>
<p>論文を読む</p> <p>・ベルリンの「内」と「外」 —『舞姫』を通じて(前田愛)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の基本的な読み方を習得する。 ・論理の展開を捉え、『舞姫』における都市空間と主人公の心情の表現の関わりを理解する。 ・論文の内容をきっかけとして、小説『舞姫』に関心を抱く。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。</p> <p>内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を正確に把握しようとしている。</p> <p>論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心を持ち、調べたり読んだりしている。</p>		
<p>評論Ⅱ</p> <p>・市民社会化する家族(今村仁司)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・緊密な論理で構成された評論文を部分部分の相互関係を理解しながら丁寧に読み、論旨の流れを把握する。 ・「近代家族」や「市民社会」に対する筆者の問題意識を把握し、これからの家族のあり方について考える。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、正しく活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「近代家族」「市民社会」について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・本文内容の正しい理解を踏まえ、市民社会化に抗する人間のあり方についての筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。 		
<p>評論Ⅱ</p> <p>・隠れん坊の精神史(藤田省三)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・本文を読み解いて、抽象的な表現の内容をつかみ、具体例から普遍性を引き出す論法を学ぶ。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自らの文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。</p> <p>・筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。</p> <p>・本文内容の正しい理解を踏まえ、筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。</p>	<p>9 ～ 10月</p>	<p>二 学 期 中 間 考 査</p>
<p>評論Ⅲ</p> <p>・地図の想像力—ボードリヤールの寓話(若林幹夫)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・人が帰属するさまざまな社会とどのようにかかわり合っているかについて考える。 ・地図を通して、自分の世界や社会に対するイメージを明確にする。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を正確に把握している。</p> <p>本文内容を踏まえて、自分の帰属する社会だけでなく、広く社会のとの関わりを意識し、自分の世界や社会に対するイメージを明確にしながらい、自分の「世界イメージ」としての地図を作ろうとしている。</p>		

総合入試問題演習Ⅰ ・入試現代文実践演習	大学入試共通テストや私立大学入試過去問題をもとに、その内容を的確にとらえ、選択問題や内容説明問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。	10月～12月	二学期期末考査
		思	「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を理解するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。 本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。 		
総合入試問題演習Ⅱ ・入試現代文完成演習	大学入試共通テストや国公立・私立大学入試過去問題をもとに、その内容を正確にとらえ、選択問題や内容説明問題及び記述問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。	1～3月	学年末考査
		思	「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を深く理解するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		
		主	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。 本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。 		

教科	国語	履修学年	3	教科書 (出版社)	探求 論理国語(桐原書店) 文学国語(筑摩書房)
科目	現代文Ⅱ	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新版 品詞別頻出漢字マスター3000(尚文出版) 読解を深める現代文単語評論・小説 改訂版(桐原書店) 2025共通テスト対策【実力養成】重要問題演習 現代文 (ランズ) リテラ 速読レッスン 論理vol. 3(文英堂) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての時間を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度や、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查
		知	思	主	4月～5月 一学期中間 考查
評論Ⅰ ・オブジェとイマージュ (高階秀爾)	<ul style="list-style-type: none"> 二項対立による比較対照に着目し。評論の読み方に習熟する。 著者の主張を踏まえて、自分自身が芸術に触れる際の感性を磨く。 	知 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、正しく活用している。	思 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して、内容を正しく解釈し、考察している。	主 イマージュの世界が人間のイメージーションに訴える力を持っているという筆者の考えについて、自分の考えを深めるとともに、的確にまとめようとしている。	
評論Ⅰ ・人間の領域(日高俊隆)	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方に習熟する。 人間の生きる論理を把握し。どう扱うべきかについて考える。 	知 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、正しく活用している。	思 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。	主 筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、参考資料と重ねて読むことでテーマについての理解を深め、自分自身が生きることの意味について考察している。	

<p>評論Ⅱ</p> <p>・身体と出現(平野啓一郎)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・「帰納」や「演繹」など評論特有の考え方に触れ、的確に理解する。 ・人間の身体と周囲の関係性に着目し、人間の存在についての認識を深める。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、正しく活用している。</p> <p>文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価し、書き手の意図を正しく把握している。</p> <p>本文の内容を踏まえて、私たちを取り巻くものと身体の間わりについて、自分の考えを深めようとしている。</p>	<p>5月～7月</p>	<p>一学期期末考査</p>
<p>評論Ⅱ</p> <p>・絵画は紙幣に憧れる(榎木野衣)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・隠喩の機能を理解し、未知の見方を手に入れる。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>文帝の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し、正しく活用している。</p> <p>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉え、筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。</p> <p>教材の内容に関心を持ち、学雌雄の道夫氏をもって言葉が持つ価値の認識を深めようとしている。</p>		
<p>評論Ⅱ</p> <p>・市民社会化する家族(今村仁司)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・緊密な論理で構成された評論文を部分部分の相互関係を理解しながら丁寧に読み、論旨の流れを把握する。 ・「近代家族」や「市民社会」に対する筆者の問題意識を把握し、これからの家族のあり方について考える。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、正しく活用している。 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「近代家族」「市民社会」について、多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・本文内容の正しい理解を踏まえ、市民社会に抗する人間のあり方についての筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。 	<p>9月～10月</p>	<p>二学期中間考査</p>
<p>評論Ⅱ</p> <p>・隠れん坊の精神史(藤田省三)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論の読み方に習熟する。 ・本文を読み解いて、抽象的な表現の内容をつかみ、具体例から普遍性を引き出す論法を学ぶ。 	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自らの文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。</p> <p>筆者の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。</p> <p>本文内容の正しい理解を踏まえ、筆者の主要な見解をわかりやすくまとめようとしている。</p>		
<p>総合入試問題演習Ⅰ</p> <p>・入試現代文実践演習</p>	<p>大学入試共通テスト演習を中心に、その内容を的確にとらえ、選択問題や内容説明問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。</p> <p>「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を理解するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。</p> <p>本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確に捉えようとしている。</p>	<p>10月～12月</p>	<p>二学期期末考査</p>
<p>総合入試問題演習Ⅱ</p> <p>・入試現代文完成演習</p>	<p>大学入試共通テストや私立大学入試過去問題をもとに、その内容を正確にとらえ、選択問題や内容説明問題及び記述問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。</p> <p>「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を深く理解するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。</p> <p>本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。</p>	<p>1～3月</p>	<p>学年末考査</p>

教科	国語	履修学年	3	教科書 (出版社)	探求 論理国語(桐原書店) 文学国語(筑摩書房)
科目	現代文演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新版 品詞別頻出漢字マスター3000(尚文出版) 読解を深める現代文単語評論・小説 改訂版(桐原書店) ロジック現代文 私大過去問題演習〈マーク+記述〉対策 (桐原書店) リテラ 速読レッスン 論理vol. 3(文英堂) 新訂版 最新国語便覧(浜島書店)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての時間を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度や、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期
					考查
基本問題演習Ⅰ ・入試現代文読解演習Ⅰ ・日本のデザイン ・日本人にはわからない「共和主義」 ・京都ぎらい ・家族の痕跡	主に私立大学入試過去問題をもとに、その内容を的確にとらえ、選択問題や内容説明問題の解き方を把握し、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。	4 ～ 5 月	一 学 期 中 間 考 査
		思	「読むこと」において、作者の考えや目的、意図を捉えて内容を把握するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		
		主	積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、これまでの学習を生かして学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を理解しようとしている。		
基本問題演習Ⅱ ・入試現代文読解演習Ⅱ ・遠いほど近くなる ・歴史のゆくえ ・私の文章作法／色のない画 ・恋愛及び色情	主に私立大学入試過去問題をもとに、その内容を的確にとらえ、選択問題や内容説明問題の解き方を把握し、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。	5 ～ 7 月	一 学 期 期 末 考 査
		思	「読むこと」において、必要に応じて作者の考えや目的、意図を捉えて内容を把握するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		
		主	積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、これまでの学習を生かして学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。		

<p>総合入試問題演習Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試現代文実践演習Ⅰ ・科学と非科学 ・〈狭さ〉の美学 ・時間と自己 ・落語の中の経済学 	<p>私立大学入試過去問題をもとに、その内容を的確にとらえ、選択問題や内容説明問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。</p> <p>「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を理解するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。</p>	<p>9 ～ 10月</p>	<p>二学期中間 考查</p>
<p>総合入試問題演習Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試現代文実践演習Ⅱ ・流言のメディア史 ・不平等を考える ・「インテリ」と知的社会の変貌 ・社会美学への招待 	<p>私立大学入試過去問題をもとに、その内容を正確にとらえ、選択問題や内容説明問題及び記述問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。</p> <p>「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を理解するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。</p> <p>・本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。</p>	<p>10月 ～ 12月</p>	<p>二学期期末 考查</p>
<p>総合入試問題演習Ⅲ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試現代文完成演習 ・人工知能時代を〈善く〉生きる技術 ・個立の風景 ・子どもにうたえる文章 ・漱石を書く 	<p>私立大学入試過去問題をもとに、その内容を正確にとらえ、選択問題や内容説明問題及び記述問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。</p> <p>「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を深く理解するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。</p> <p>・本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。</p>	<p>1 ～ 3月</p>	<p>学年末 考查</p>

教科	国語	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 古典探究(数研出版)
科目	古典探究Ⅱ	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	三訂版 古文単語330(いっぴな書店)
単位数	3				九訂版 体系古典文法(数研出版)
					短期集中シリーズ 和歌(桐原書店)
					新版 源氏物語で理解する敬語・識別マスターワーク (数研出版)
					2025共通テスト対策【実力養成】重要問題演習 古典 (ランズ)
					必携 新明説漢文(尚文出版)
					高校生のための古典ライブラリー漢文名文選(筑摩書房)
					新訂版 最新国語便覧(浜島書店)

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)生涯にわたる社会生活にえける他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3)言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての時間をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考査
随筆 ・二月つごもりごろに (枕草子)	・「なほ内侍に奏してなさむ」とは、誰をどのように評しているのか、説明する。	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	4 ～ 5 月	一 学 期 中 間 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	積極的に登場人物の行動や心情を捉え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。		
評論 ・俊成自讃歌のこと(無名抄)	・俊恵は俊成の「夕されば…」の歌について、どういふ点を批判しているのか、まとめる。	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。		
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って俊恵の主張を説明しようとしている。		
近世随筆 ・師の説になづまざること(本居宣長)	・筆者は「わが師の心」をどのように受け取っているか、まとめる。 ・筆者は「学問の道」をどのように理解し、どのように対するのがよいと考えているか、まとめる。	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。		
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って俊恵の主張を説明しようとしている。		

史伝 ・廉頗・藺相如(史記) ・刎頸の交わり	<ul style="list-style-type: none"> 廉頗と藺相如は互いに対してどのような態度をとったかまとめる。 「刎頸の交わり」という成語は、現在どのような意味で使われているか調べる。 	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	4 ～ 5月	一 学 期 中 間 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	廉頗と藺相如がお互いに対してどのような態度をとったかについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。		
日記文学 ・うつろひたる菊(蜻蛉日記)	<ul style="list-style-type: none"> 作者と兼家の間にどのようなことが起こったのか、時間を追って整理する。 「嘆きつつ……」の歌を「例よりはひきつくろひて書いて、うつろひたる菊にさし」て送った作者の気持ちについてまとめる。 	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	5月 ～ 7月	一 学 期 期 末 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	積極的に登場人物の行動や心情を捉え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。		
日記文学 ・薫る香に(和泉式部日記)	<ul style="list-style-type: none"> 作者が「薫る香に……」の歌を帥宮に贈ったのはどういう気持ちからか、考える。 「同じ枝に……」の歌の「同じ枝」「ほととぎす」「声は変わらぬ」という表現がどういう意味を持って使われているか、考える。 	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	5月 ～ 7月	一 学 期 期 末 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	積極的に作者の心情を捉え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。		
史伝 ・荊軻(史記) ・風蕭蕭として易水寒し ・凶窮まりて匕首見る	<ul style="list-style-type: none"> 易水での歌には荊軻のどのような気持ちが込められているのかを考える。 秦王は荊軻の最初の一撃を免れたのに、なぜ殺されそうになったのか、理由をまとめる。 	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	5月 ～ 7月	一 学 期 期 末 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	秦王が荊軻の最初の一撃を免れた後、依然として危険な状態におかれた理由について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈している。		
物語 ・須磨(源氏物語)	<ul style="list-style-type: none"> 光源氏と従者が詠み交わす四首の歌をそれぞれ現代語訳し、四首に共通する心情を説明する。 白居易の詩の引用が、それぞれどのような意味を与えているか、調べてまとめる。 	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	9 ～ 10月	二 学 期 中 間 考 査
		思	「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。		
		主	粘り強く漢詩引用の効果について調べ、今までのが ³ 句集を生かして調べたことをまとめようとしている。		
物語 ・紫の上の死(源氏物語)	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の歌は、それぞれどのような思いを詠んだものか、説明する。 紫の上の死がどのように描かれているか、まとめる。 	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	9 ～ 10月	二 学 期 中 間 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	積極的に登場人物の行動や心情を捉え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。		
文章 ・師説(韓愈)	<ul style="list-style-type: none"> 「子を愛する親」「巫医・学士・百工などの専門技術者」「孔子(聖人)らについて、それぞれの「師」に対する考え方を整理する。 韓愈の考える「師」とはどのような人か、説明する。 	知	古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。	9 ～ 10月	二 学 期 中 間 考 査
		思	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。		
		主	韓愈の考える「師」とはどのような人かについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。		

<p>総合問題演習Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習Ⅰ ・入試問題演習Ⅱ 	<p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などとともに、漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、さまざまなジャンルの問題に取り組み、大学入試共通テスト古典や私立大学古典の文章の内容を正確にとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>古典を読むために必要な文語のきまりや漢文訓読について理解を深めている。</p> <p>「読むこと」において、必要に応じて作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈して正解に到達しようとしている。</p>	<p>1 0 月 ～ 1 2 月</p>	<p>二 学 期 期 末 考 査</p>
<p>総合入試問題演習Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試問題演習Ⅲ 	<p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などとともに、漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、さまざまなジャンルの問題に取り組み、大学入試共通テスト古典や私立・国公立大学古典の文章の内容を正確にとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>古典を読むために必要な文語のきまりや漢文訓読について理解を深めている。</p> <p>「読むこと」において、必要に応じて作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈して正解に到達しようとしている。</p>	<p>1 ～ 3 月</p>	<p>学 年 末 考 査</p>

教科	国語	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 古典探究(数研出版)
科目	古典探究演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	三訂版 古文単語330(いっぴな書店)
単位数	2				九訂版 体系古典文法(数研出版)
					基礎からのジャンプアップノート 漢文句法・演習ドリル (旺文社)
					高校生のための古典ライブラリー漢文名文選(筑摩書房)
					新訂版 最新国語便覧(浜島書店)

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2)生涯にわたる社会生活にえける他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3)言葉がもつ価値への認識を高めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての時間をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期	
				考查	
基本問題演習Ⅰ ・古典文法の総復習 ・古文読解演習Ⅰ 錦木物語 なよ竹物語絵巻	古典の世界に親しむために、古文を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などについて理解を深めるとともに、大学入試共通テスト古文の内容を的確にとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。	4 ～ 5 月	一 学 期 中 間 考 査
		思	「読むこと」において、必要に応じて作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		
		主	積極的に文章や和歌を多面的・多角的な視点から考察し、今までの学習を生かして学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。		
基本問題演習Ⅱ ・古文読解演習Ⅱ ・古文読解演習Ⅲ ・漢文句法演習 ・漢文読解演習Ⅰ 十訓抄 千種日記 容斎随筆 遜斎齋集	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などとともに、漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、大学入試共通テスト古典の文章の内容を的確にとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	古典を読むために必要な文語のきまりや漢文訓読について理解を深めている。	5 ～ 7 月	一 学 期 末 考 査
		思	「読むこと」において、必要に応じて作者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。		
		主	積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈しようとしている。		

<p>総合問題演習Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> 古文読解演習Ⅳ 漢文読解演習Ⅲ <p>伊勢物語 源氏物語 石清水物語 詩話絵巻 貞観政要 韓非子</p>	<p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などとともに、漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、さまざまなジャンルの問題に取り組み、大学入試共通テスト古典の文章の内容を正確にとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>古典を読むために必要な文語のきまりや漢文訓読について理解を深めている。</p> <p>「読むこと」において、必要に応じて作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈して正解に到達しようとしている。</p>	<p>9 ～ 10月</p>	<p>二学期 中間 考查</p>
<p>総合問題演習Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試問題演習Ⅰ 入試問題演習Ⅱ <p>太平記 蜻蛉日記 俊頼髓脳 郁離子 唐語林 涑水紀聞</p>	<p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などとともに、漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、さまざまなジャンルの問題に取り組み、大学入試共通テスト古典の文章の内容を正確にとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>古典を読むために必要な文語のきまりや漢文訓読について理解を深めている。</p> <p>「読むこと」において、必要に応じて作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈して正解に到達しようとしている。</p>	<p>10月 ～ 12月</p>	<p>二学期 期末 考查</p>
<p>総合入試問題演習Ⅲ</p> <ul style="list-style-type: none"> 入試問題演習Ⅲ <p>栄花物語 八重葎 潜研堂文集 繡谷春容 等</p>	<p>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古文特有の表現などとともに、漢文のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めるとともに、さまざまなジャンルの問題に取り組み、大学入試共通テスト古典の文章の内容を正確にとらえ、文章を評価することを通して、考えを深める。</p>	<p>知 思 主</p>	<p>古典を読むために必要な文語のきまりや漢文訓読について理解を深めている。</p> <p>「読むこと」において、必要に応じて作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を解釈して正解に到達しようとしている。</p>	<p>1 ～ 3月</p>	<p>学年 末 考查</p>

教科	地理歴史	履修学年	3	教科書 (出版社)	新詳地理探究 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)
科目	地理探究	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新詳地理資料COMPLETE2022 (帝国書院) 25共通テスト実力トレーニング地理 (啓隆社)
単位数	5				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

1 基本的な地理的知識・技能を定着する。 2 習得した知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を身に付ける。 3 主体的・積極的に学習し、地表面で展開される諸問題に対して主体的に考察し探究する姿勢を身に付ける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	知識の習得や知識の理解、資料を正しく利用できる力を身に付けているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決してゆくための思考力・判断力・表現力などを身に付けているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身に付ける過程において主体的に学習に取り組んでいるか。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查	
		知	思	主	
自然環境	地球上の地形や気候、生態系のメカニズムを学び、それが地球的課題とどのように関わっているかを考察する。	知	人間生活の舞台となる地表面における地形と気候の地域的な特色を形成する要因について理解している。地形・気候の地域的な特色と人間生活や自然災害の関係と実例について理解している。	1	学期
		思	人間生活の舞台となる地表面における地形と気候を構成する要因と各地で展開される人間生活との関わりや自然災害との関わりについて各地域の現状について多面的、多角的に考察し、地域的な特色を表現することができる。	中間	考查
		主	人間生活の舞台となる地表面における地形と気候を構成する要因と各地で展開される人間生活との関わりと自然災害との関わりについて多面的、多角的に考察し、地域的な課題を取り上げるとともに、人間が自然といかに関わるかについての方法について手立てについて主体的に探究しようとしている。		
資源と産業	現代社会における産業と資源・エネルギーの開発や産業の発達と地球的課題との関わりを考察する。	知	現代社会における産業と資源・エネルギーの開発や産業の発達についての各地の現状と地球的課題の関わりを理解している。	1	学期
		思	現代社会における人間が生み出してきた多様な産業と資源・エネルギーの開発について各地の現状を理解した上で、現代社会の地球的課題との関わりを多面的に考察し、表現することができる。	期末	考查
		主	現代社会における産業と資源・エネルギーの開発や産業の発達に関わる地球的課題を自ら研究し、世界の諸地域の問題について積極的に考察し探究しようとしている。		
交通・通信と観光・貿易 人口、村落・都市	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達が地球的課題とどのように関わっているのかを考察する。	知	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達が地球的課題とどのように関わっているのかを理解している。	2	学期
		思	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達の地域的な展開が地球的課題とどのように関わっているのかを理解し、各地の現状と地球的課題との関わりを多面的に考察し、表現することができる。	中間	考查
		主	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達の現状について理解し、それが地球的課題とどのように関わっているのかを理解した上で世界の諸地域で発生している問題について自ら積極的に考察し深く探究しようとしている。		

生活文化、民族・宗教	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを考察する。	知	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを考察することができる。	2	学期		
		思	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを理解し、地球的課題との関わり多面的に考察し、表現することができる。			期末	考查
		主	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを自ら研究し、世界の諸地域の問題について積極的に考察しようとしている。				
現代世界の地誌的考察	現代世界の地表面で展開される諸事象を地域的な枠組みでとらえ地誌的に考察する。	知	現代世界の地表面で展開される諸事象を地域的な枠組みの中で地域的な特色を地誌的に理解している。	2	学期		
		思	現代世界の地表面で展開される諸事象の知識や技能を利用して各地域の特色を理解し、比較する中で地域的な課題を解決する方法を考えることができる。			期末	考查
		主	主体的に現代世界の地表面で展開される地域的な課題を見つけ、他の地域との関わりの中で考察し探究する姿勢を有している。				

教科	地理歴史	履修学年	3	教科書 (出版社)	新詳地理探究 (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)
科目	地理演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新詳地理資料COMPLETE2022 (帝国書院) 25共通テスト実力トレーニング地理 (啓隆社)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

1 基本的な地理的知識・技能を定着する。 2 習得した知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力を身に付ける。 3 主体的・積極的に学習し、地表面で展開される諸問題に対して主体的に考察し探究する姿勢を身に付ける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	知識の習得や知識の理解、資料を正しく利用できる力を身に付けているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決してゆくための思考力・判断力・表現力などを身に付けているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身に付ける過程において主体的に学習に取り組んでいるか。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查	
		知	思	主	
自然環境	地球上の地形や気候、生態系のメカニズムを学び、それが地球的課題とどのように関わっているかを考察する。	知	人間生活の舞台となる地表面における地形と気候の地域的な特色を形成する要因について理解している。地形・気候の地域的な特色と人間生活や自然災害の関係と実例について理解している。		1 学期
		思	人間生活の舞台となる地表面における地形と気候を構成する要因と各地で展開される人間生活との関わりや自然災害との関わりについて各地域の現状について多面的、多角的に考察し、地域的な特色を表現することができる。		中間 考查
		主	人間生活の舞台となる地表面における地形と気候を構成する要因と各地で展開される人間生活との関わりと自然災害との関わりについて多面的、多角的に考察し、地域的な課題を取り上げるとともに、人間が自然といかに関わるかについての方法について手立てについて主体的に探究しようとしている。		
資源と産業	現代社会における産業と資源・エネルギーの開発や産業の発達と地球的課題との関わりを考察する。	知	現代社会における産業と資源・エネルギーの開発や産業の発達についての各地の現状と地球的課題の関わりを理解している。		1 学期
		思	現代社会における人間が生み出してきた多様な産業と資源・エネルギーの開発について各地の現状を理解した上で、現代社会の地球的課題との関わりを多面的に考察し、表現することができる。		期末 考查
		主	現代社会における産業と資源・エネルギーの開発や産業の発達に関わる地球的課題を自ら研究し、世界の諸地域の問題について積極的に考察し探究しようとしている。		
交通・通信と観光・貿易 人口、村落・都市	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達が地球的課題とどのように関わっているのかを考察する。	知	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達が地球的課題とどのように関わっているのかを理解している。		2 学期
		思	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達の地域的な展開が地球的課題とどのように関わっているのかを理解し、各地の現状と地球的課題との関わりを多面的に考察し、表現することができる。		中間 考查
		主	交通・通信と観光、貿易、人口や村落・都市の発達の現状について理解し、それが地球的課題とどのように関わっているのかを理解した上で世界の諸地域で発生している問題について自ら積極的に考察し深く探究しようとしている。		

生活文化、民族・宗教	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを考察する。	知	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを考察することができる。	2	学期		
		思	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを理解し、地球的課題との関わり多面的に考察し、表現することができる。			期末	考查
		主	世界の人々の生活文化や民族・宗教には共通性や地域性について各地の地域的特色と地球的課題がどのように関わっているのかを自ら研究し、世界の諸地域の問題について積極的に考察しようとしている。				
現代世界の地誌的考察	現代世界の地表面で展開される諸事象を地域的な枠組みでとらえ地誌的に考察する。	知	現代世界の地表面で展開される諸事象を地域的な枠組みの中で地域的な特色を地誌的に理解している。	2	学期		
		思	現代世界の地表面で展開される諸事象の知識や技能を利用して各地域の特色を理解し、比較する中で地域的な課題を解決する方法を考えることができる。			期末	考查
		主	主体的に現代世界の地表面で展開される地域的な課題を見つけ、他の地域との関わりの中で考察し探究する姿勢を有している。				

教科	地理歴史科	履修学年	3	教科書 (出版社)	『詳説日本史 日本史探究』 (山川出版社)
科目	日本史探究	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	『新詳日本史』 (浜島書店) 『日本史用語集』 (山川出版社) 『ゼミナール日本史』 (浜島書店) 『詳録日本史史料集成』 (第一学習社)
単位数	5				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

現代の「日本」を形作る基盤として、長い年月の中で積み上げられてきた文化、伝統、遺産等があります。日本史を学ぶということは、それらのことを学習すると同時に、国際社会において主体的に生きる日本人としての資質を養うことでもあります。即ち、現代を生きる私たちの指針にしていくことにもつながります。以上のことを踏まえつつ、日本史を学んでいきます。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解させ、諸資料をもとに効果的に調べて整理する技能を養成する。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色等を多面的・多角的に考察し、歴史に見られる諸課題の解決を視野に入れた構想をしつつ、効果的な説明や議論につなげていく能力を養成する。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を目指して諸課題を主体的に学び探究しようとする態度を養うとともに、他国の人々、文化等を尊重することの自覚を深めさせる。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考査		
第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	① 開国と幕末の動乱 ② 幕府の滅亡と新政府の発足 ③ 明治維新と富国強兵 ④ 立憲国家の成立	知	・欧米諸国の進出により幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯を理解する。 ・明治政府による中央集権化の諸政策や明治初期の外交、文化等について理解する。また、諸資料から自由民権運動の展開から憲法制定、立憲国家成立への過程を理解する。	1	学期
		思	・日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治経済、外交等の諸側面の変化を多面的かつ多角的に考察し、近代社会の形成に向かうことを探究する。	中間	考査
		主	・幕末から明治初期の政治、経済、外交、文化等各分野及び日本が近代国家の成立に向けて歩む歴史の流れを課題を見つけて主体的に学んでいく姿勢を身につける。		

第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活	① 日清戦争と国際関係 ② 第一次世界大戦と日本 ③ ワシントン体制 ④ 近代産業の発展 ⑤ 近代文化の発達 ⑥ 市民生活の変容と大衆文化	知	・日清、日露戦争前後の歴史的諸事象について諸資料から情報を読み取り、この戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解する。 ・ベルサイユ体制からワシントン体制への枠組がもたらす民族運動や社会運動が起こった背景及び政党政治の成立について理解する。 ・諸資料より日本の産業革命の実態及びその結果としての社会の変容について理解する。 ・明治期における文化及び大正期における市民文化の特色を理解する。	1	学期
		思	・戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたこと、また、日本の動向が近隣諸国にどのように受け止められたかを考察する。 ・近代産業の発展が社会にもたらした変化及び学校教育を通して変容する国民の意識を文化の諸事項と関連づけながら探究する。	期末	考査
		主	・対外的な戦争が日本の近代化の過程の中で持った意味を考察し、主体的な探究に結びつける。 ・産業の発展とそれに伴う社会問題、当時の国際社会の特質を考察することで課題を見出し、主体的に調べ探究する。		

第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本	① 恐慌の時代 ② 軍部の台頭 ③ 第二次世界大戦 ④ 占領と改革 ⑤ 冷戦の開始と講和	知	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前の日本と国際社会の関係を、政治・経済・外交等様々な視点から把握しつつ、軍部とのせめぎあいの中で次第にファシズム国家へと変容していく過程を理解する。 ・敗戦後の占領政策及びその後の政策転換が日本を自立する道につながっていくことを理解する。 	2	学期		
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前の政治・経済・外交等の様々な歴史事象を、諸資料を駆使しながら、多角的かつ多面的に考察する力を養成する。 ・戦後の占領下から自立、独立していく日本の実相を当時の国際情勢と関連づけながら諸資料を読み解く力を養成する。 			中間	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前と戦後の日本の歴史事象が明確に異なる点を、自ら課題として見出し、主体的に調べて探究する。 ・世界で唯一の被爆国である日本の視点より平和学習への取り組みにつなげる。 				
第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	① 55年体制 ② 経済復興から高度経済成長へ ③ 経済大国への道 ④ 冷戦の終結と日本社会の変容	知	<ul style="list-style-type: none"> 保守合同による自民党の成立から、経済成長を背景とした安定した保守政権の誕生に至る経緯を、諸資料を踏まえて理解する。 ・高度経済成長後の日本の国内動向及び冷戦後の国際関係等を理解する。 	2	学期		
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・日ソ共同宣言、日韓基本条約、沖縄返還協定等の外交事案がもたらした課題を諸資料から多面的かつ多角的に考察し、表現する力を養成する。 ・高度経済成長による日本の復興及びバブル崩壊後の経済不況等の経済動向を諸資料から考察する力を養成する。 			期末	考查
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・55年体制の歴史的意義、独立後の国内政治について主体的に課題を見出して学習する。 ・冷戦終結後の国際社会において、日本がどのような役割を果たしてきたのか、また現にはたしているのかを主体的に探究する。 				
○大学入試問題への対応 ・全時代の総復習 ・問題演習と解法		知	<ul style="list-style-type: none"> ・全時代にわたり、基本的な歴史事項の整理、確認を行い、入試に対応しうる実践力をつける。 	3	学期		
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・全時代にわたり、様々な資料を再度確認し、解読、解説することで、資料から読み取る読解力をつける。 				
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・全時代にわたり、自らの進路志望校に向けた問題演習等を主体的に行う。 				

教科	地理歴史科	履修学年	3	教科書 (出版社)	『詳説日本史 日本史探究』 (山川出版社)
科目	日本史演習	必修 または 選択	必修	副教材 など	『新詳日本史』 (浜島書店) 『日本史用語集』 (山川出版社) 『ゼミナール日本史』 (浜島書店) 『詳録日本史史料集成』 (第一学習社)
単位数	2		必修選択 自由選択		

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

現代の「日本」を形作る基盤として、長い年月の中で積み上げられてきた文化、伝統、遺産等があります。日本史を学ぶということは、それらのことを学習すると同時に、国際社会において主体的に生きる日本人としての資質を養うことでもあります。即ち、現代を生きる私たちの指針にしていくことにもつながっていくのです。以上のことを踏まえつつ、日本史を学んでいきます。	知識及び技能 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史とも関連づけながら総合的に捉えて理解し、諸資料をもとに効果的に調べて整理する技能を養成する。	思考力・判断力・表現力等 我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色等を多角的、多面的に考察したり、歴史に見られる諸課題の解決を視野に入れた構想をしつつ、効果的な説明や議論につなげていく能力を養成する。	主体的に取り組む態度 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を目指して諸課題を主体的に学び探究しようとする態度を身につけるとともに、他国の人々、文化等を尊重することの自覚を深める。
--	---	---	---

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考査	
			1	学期
第7章 武家社会の成長	南北朝の動乱期から室町幕府の成立と安定を経て、応仁の乱後国内の混乱が生じていく過程を学ぶ。また、室町時代における外交、経済、文化等の各分野をまとめる。問題演習も行うこととする。 ① 室町幕府の成立 ② 幕府の衰退と庶民の台頭 ③ 室町文化 ④ 戦国大名の登場	知 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移、守護大名と戦国大名の権力の相違点、日明貿易の特色、多様な文化の形成等について諸資料から情報を読み取り理解する。	1	学期
		思 南北朝の動乱を経て、室町幕府の成立及びその政治組織、庶民の台頭による幕府権力の衰退、戦国時代への道筋等を諸資料をもとに考察する。		
		主 室町文化(北山・東山)の特色を現代の私たちの生活につながっている部分を検証し、主体的に学習する。また、室町時代全般にわたる庶民の動向を主体的に調べて理解する。	中間	考査

第8章 近世の幕開け	大航海時代という世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出の影響を考察する。また、政治的には天下統一事業に向けた流れを理解し、同時代の文化的諸相をまとめる。問題演習も行うこととする。 ① 織豊政権 ② 桃山文化	知 織豊政権の特色や貿易、対外関係について理解する。また、桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ、庶民の生活に溶け込んでいったことを諸資料より読み取る。	1	学期
		思 織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響等について多面的かつ多角的に考察する。		
		主 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を様々な角度から考察し、主体的に通観して学ぶ。また、桃山文化の特色については、中世文化の特色と比較してその類似、差異を学ぶこととする。	期末	考査
第9章 幕藩体制の成立と展開	江戸幕府の成立から元禄期に至るまでの政治・外交・経済・文化等の各分野について考察し整理する。問題演習も行うこととする。 ① 幕藩体制の成立 ② 幕藩社会の構造 ③ 幕政の安定 ④ 経済の発展 ⑤ 元禄文化	知 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料より適切に情報を読み取り、江戸時代全体の構造を理解する。	2	学期
		思 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的かつ多角的に考察する。		
		主 幕藩体制というしくみが、様々な階層の人々にとってどのような影響をもたらしたのか、その本質を諸資料をもとにしながら主体的に学ぶこととする。	中間	考査

第10章 幕藩体制の動揺	江戸時代の三大改革、欧米諸国の東アジア進出による国際情勢の変化、爛熟した文化、経済活動の活発化等、江戸時代の中盤から後半の時代相を考察し、まとめる。問題演習も行うこととする。 ① 幕政の改革 ② 宝暦・天明期の文化 ③ 幕府の衰退と近代への道 ④ 化政文化	知	幕府、諸藩が抱える経済的窮乏等の実情を、改革を通していかんにか是正していこうとしたのか、また、列強の進出が迫る中で、どのような外交方針を立てて対処しようとしたのか等を諸資料をもとに考察し理解する。	2	学期
		思	幕藩体制の動揺を国際情勢の変化と影響等に関連させ、諸資料から読み取れる情報をもとに課題を見出し、主体的に学ぶこととする。		
		主	幕藩体制下の社会、経済のしくみの変化や幕府・諸藩の政策の変化について課題を見出し、主体的に追究し学ぶ。また、この時期に発生した文化が次の近代以降の文化にもたらす影響についても主体的に調べ考察する。	期末	考查
○大学入試問題への対応 ・ 共通テスト過去問 ・ 国公立、私大の過去問等		知	全時代にわたり、基本的な歴史事項の整理、確認を行い、入試に対応しうる実践力をつける。	3	学期
		思	全時代にわたり、様々な資料を再度確認し、解説・解説することで、資料から読み取る読解力をつける。		
		主	全時代にわたり、生徒自らの進路志望校に向けた問題演習等を主体的に行うものとする。		

教科	地理歴史	履修学年	3	教科書 (出版社)	詳説世界史(山川出版社)
科目	世界史探究	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	最新世界史図説 タペストリー 二十一訂版(帝国書院) 詳説世界史 10分間テスト(山川出版社)
単位数	5				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>知識及び技能</p> <p>世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>主体的に取り組む態度</p> <p>世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
---	---	---	--

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期		
			1	2	
第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 2 東ヨーロッパ世界の展開 3 西ヨーロッパ世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化	①封建社会が解体に向かった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ②教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解する。 ③スペインで国王による中央集権化が早く進んだのはなぜか理解する。	知	封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動きを理解している。	1	学期
		思	大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	西ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第9章 大交易・大交流の時代 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	①ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 ③中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。	知	ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。	1	学期
		思	ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想	①主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ②16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ③アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。	知	主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。	1	学期
		思	ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。		
		主	主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		

第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命 2 アメリカ合衆国の独立と発展 3 フランス革命とナポレオンの支配 4 中南米諸国の独立	①革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ②人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。	知	フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。	1	学期
		思	「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 1 ウィーン体制 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	①ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ②ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。	知	19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。	2	学期
		思	ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	中間	考查
		主	ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	①清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。 ③欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	知	欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。	2	学期
		思	アヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。	中間	考查
		主	東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 3 アジア諸国の変革と民族運動	①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ③20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。	知	列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。	2	学期
		思	列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	中間	考查
		主	列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動	①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ④第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。	知	第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。	2	学期
		思	塹壕戦や新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成	①ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ②独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	知	第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。	2	学期
		思	戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
		主	第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		

第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。	知	冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。	2	学期
	②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	思	先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
	③スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現する。	主	冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		
第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	①1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。	知	冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。	2	学期
	②東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。	思	1990年前後の各地の様子を写した画像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。	期末	考查
	③ゴルバチョフの改革が挫折した原因を多面的・多角的に考察し表現する。	主	冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。		

教科	地理歴史	履修学年	3	教科書 (出版社)	詳説世界史(山川出版社)
科目	世界史演習	必修 または 選択	必修	副教材 など	最新世界史図説 タペストリー 二十一訂版(帝国書院)
単位数	2		必修選択 自由選択		詳説世界史 10分間テスト(山川出版社)

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查		
		知	思	主		
第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 3 東南アジア世界の形成と展開	①東南アジアの風土について他のアジアや日本と比較したうえで理解する。 ②東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③東南アジアにおける国家形成の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	知	東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。		1	学期
		思	東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している		中間	考查
		主	東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立	①アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開、ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。 ②アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。 ③イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	知	イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。		1	学期
		思	イスラーム政権の拡大を示す地図やアラバスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。		中間	考查
		主	イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向	①イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ②南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 ③アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。	知	イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。		1	学期
		思	イスラーム政権の拡大を示す地図やアラバスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。		期末	考查
		主	イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			

第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 1 アジア諸地域の自立化と宋 2 モンゴルの大帝国	①モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 ②モンゴル帝国解体の要因を理解する。 ③ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現する。	知	モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。	2	学期		
		思	モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。			中間	考查
		主	モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
第9章 大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆	①明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ②明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。	知	「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。	2	学期		
		思	「南蛮屏風」などの図像資料や鄭暁『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。			中間	考查
		主	アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
第10章 アジアの諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆 3 清代の中国と隣接諸地域	①清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。 ②清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。	知	清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。	2	学期		
		思	皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。			中間	考查
		主	清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	①ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。 ②イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③東南アジアの植民地化の経緯を理解する。	知	ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。	2	学期		
		思	東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえて、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。			期末	考查
		主	南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				

教科	公民	履修学年	3	教科書 (出版社)	政治・経済 (実教出版)
科目	政治・経済	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	最新図説 政経 (浜島書店)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

現代の諸課題を追及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がりとなる概念や理論を理解する力や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能。	政治・経済に関する概念や理論を活用し、複雑な課題を把握、説明したり、論拠にもとづき考察、構想する力、議論を通し公正に判断する力。	我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に積極的役割を果たす自覚や現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查
		知	思	主	
現代日本の経済 1. 経済社会の変容 2. 現代経済のしくみ 3. 現代経済と福祉の向上	経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みなどについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取る技能を身につけている。		4 5月 1学期 中間 考查
		思	経済活動や経済社会の変容とその課題について、よりよい社会の実現のための解決策を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		
現代の国際経済 1. 国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と金融危機 4. 地域経済統合 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力	貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身につけている。		5 7月 1学期 期末 考查
		思	相互依存関係が深まる国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		
現代の日本の政治 1. 民主政治の基本原則 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治機構 4. 現代日本の政治	政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身につけている。		9 10月 2学期 中間 考查
		思	政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。		
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		

<p>現代の国際政治</p> <p>1. 国際政治と国際法</p> <p>2. 国際連合と国際協力</p> <p>3. 現代国際政治の動向</p> <p>4. 核兵器と軍縮</p> <p>5. 国際紛争と難民</p> <p>6. 国際政治と日本</p>	<p>国際社会の変遷, 人権, 国家主権, 領土などに関する国際法の意義, 国際連合をはじめとする国際機構の役割, 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</p>	<p>知 現代の国際政治・経済に関する諸資料から, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取る技能を身につけている。</p> <p>思 国際社会の特質や国際法の果たす役割, 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。</p> <p>主 現実社会の諸課題について主体的に追究して, 現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	<p>10 ~ 12月</p>	<p>2 学期 期末 考查</p>
<p>現代日本および国際社会における諸課題の探究</p> <p>共通テスト対策</p>	<p>現代日本および国際社会における政治・経済の諸課題について, 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明, 論述させる。</p> <p>共通テストなど大学入試に向けた問題演習に取り組みさせる。</p>	<p>知 現代日本および国際社会における政治・経済の諸課題について, 習得した知識を活用したり, 必要な情報を収集し, 読み取り, まとめることができる。</p> <p>思 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明, 論述している。</p> <p>主 現代日本における政治・経済の諸課題について, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1 ~ 3月</p>	<p>3 学期</p>

教科	公民	履修学年	3	教科書 (出版社)	政治・経済 (実教出版)
科目	政治・経済	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	最新図説 政経 (浜島書店) 2025公共、政治・経済 実践攻略 大学入学共通テスト 問題集 (実教出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

現代の諸課題を追及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかかりとなる概念や理論を理解する力や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能。	政治・経済に関する概念や理論を活用し、複雑な課題を把握、説明したり、論拠にもとづき考察、構想する力、議論を通し公正に判断する力。	我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に積極的役割を果たす自覚や現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期
		知	思	主
現代日本の経済 1. 経済社会の変容 2. 現代経済のしくみ 3. 現代経済と福祉の向上	経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みなどについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取る技能を身につけている。	4 5月
		思	経済活動や経済社会の変容とその課題について、よりよい社会の実現のための解決策を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
現代の国際経済 1. 国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と金融危機 4. 地域経済統合 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力	貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身につけている。	5 7月
		思	相互依存関係が深まる国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	
現代の日本の政治 1. 民主政治の基本原則 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治機構 4. 現代日本の政治	政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身につけている。	9 10月
		思	政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	

<p>現代の国際政治</p> <p>1. 国際政治と国際法</p> <p>2. 国際連合と国際協力</p> <p>3. 現代国際政治の動向</p> <p>4. 核兵器と軍縮</p> <p>5. 国際紛争と難民</p> <p>6. 国際政治と日本</p>	<p>国際社会の変遷, 人権, 国家主権, 領土などに関する国際法の意義, 国際連合をはじめとする国際機構の役割, 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</p>	<p>知 現代の国際政治・経済に関する諸資料から, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取る技能を身につけている。</p> <p>思 国際社会の特質や国際法の果たす役割, 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。</p> <p>主 現実社会の諸課題について主体的に追究して, 現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	<p>10 12月</p>	<p>2 学期 期末 考查</p>
<p>現代日本および国際社会 における諸課題の探究</p> <p>共通テスト対策</p>	<p>現代日本および国際社会における政治・経済の諸課題について, 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明, 論述させる。</p> <p>共通テストなど大学入試に向けた問題演習に取り組みさせる。</p>	<p>知 現代日本および国際社会における政治・経済の諸課題について, 習得した知識を活用したり, 必要な情報を収集し, 読み取り, まとめることができる。</p> <p>思 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明, 論述している。</p> <p>主 現代日本における政治・経済の諸課題について, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>1 3月</p>	<p>3 学期</p>

教科	公民	履修学年	3	教科書 (出版社)	政治・経済 (実教出版)
科目	政治・経済演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	最新図説 政経 (浜島書店) 2025公共、政治・経済 実践攻略 大学入学共通テスト 問題集 (実教出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

現代の諸課題を追及したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	現代社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかかりとなる概念や理論を理解する力や諸資料から情報を適切に調べまとめる技能。	政治・経済に関する概念や理論を活用し、複雑な課題を把握、説明したり、論拠にもとづき考察、構想する力、議論を通し公正に判断する力。	我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に積極的役割を果たす自覚や現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查
		知	思	主	
現代の日本の政治 演習 1. 民主政治の基本原理 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治機構 4. 現代日本の政治	政治と法の意義と機能, 基本的人権の保障と法の支配, 権利と義務との関係, 議会制民主主義, 基本的人権の保障と法の支配, 権利と義務との関係, 議会制民主主義, 地方自治について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代日本の政治に関する諸資料から, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取る技能を身につけている。		1 学期 4 ~ 5 月 中間 考查
		思	政党政治などの観点から, 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。		
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して, 民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		
現代の国際政治 演習 1. 国際政治と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮 5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本	国際社会の変遷, 人権, 国家主権, 領土などに関する国際法の意義, 国際連合をはじめとする国際機構の役割, 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代の国際政治・経済に関する諸資料から, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取る技能を身につけている。		1 学期 5 ~ 7 月 期末 考查
		思	国際社会の特質や国際法の果たす役割, 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。		
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して, 現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		
現代日本の経済 演習 1. 経済社会の変容 2. 現代経済のしくみ 3. 現代経済と福祉の向上	経済活動と市場, 経済主体と経済循環, 国民経済の大きさと経済成長, 物価と景気変動, 財政の働きと仕組み及び租税などの意義, 金融の働きと仕組みなどについて, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知	現代日本の経済に関する諸資料から, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し読み取る技能を身につけている。		2 学期 9 ~ 1 0 月 中間 考查
		思	経済活動や経済社会の変容とその課題について, よりよい社会の実現のための解決策を多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。		
		主	現実社会の諸課題について主体的に追究して, 経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		

現代の国際経済 演習 1. 国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と金融危機 4. 地域経済統合 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力	貿易の現状と意義, 為替相場の変動, 国民経済と国際収支, 国際協調の必要性や国際経済機関の役割について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知 現代の国際経済に関する諸資料から, 課題の解決に向けて考察, 構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し, 読み取る技能を身につけている。	10 ~ 12月	2 学期 期末 考查
		思 相互依存関係が深まる国際経済の特質や国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現している。		
		主 現実社会の諸課題について主体的に追究して, 現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。		
共通テスト対策	共通テストなど大学入試に向けた問題演習に取り組みさせる。	知 現代日本および国際社会における政治・経済の諸課題について, 習得した知識を活用したり, 必要な情報を収集し, 読み取り, まとめることができる。	1 ~ 3月	3 学期
		思 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明, 論述している。		
		主 現代日本における政治・経済の諸課題について, よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。		

教科	数学	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 数学Ⅲ (数研出版)
科目	数学Ⅲ	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	教科書傍用問題集「4プロセス数学Ⅲ」
単位数	5				入試問題集「ベーシックスタイル数学演習Ⅲ・C」

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

数列や関数の値の変化に着目し、極限、微積計算を間違えずに求められ、グラフを描き、面積を求めることができる。初見の入試問題に対し、思考・分析・判断を継続することができるようになる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	極限、微分法、積分法について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数列や関数の値の変化に着目し極限について考察したり、数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查	
		知	思	主		
第1章 関数 第2章 極限 第3章 微分法 1節 関数 2節 いろいろな関数の導関数 第4章 微分法的应用	第2章・関数の極限・三角関数と極限・関数の連続性 第3章・微分係数と導関数・導関数の計算・いろいろな関数の導関数 第4章・接線の方程式・平均値の定理・関数の値の変化・関数のグラフ・方程式不等式への応用・速度と加速度・近似式	それぞれの関数の特徴、数列や関数の極限の概念及び用語や表記を理解し正しく適用できる。様々な導関数の公式を適用して関数を微分できる。導関数を用いて関数の増減を調べることができる。	方程式や不等式の実数解と関数のグラフとの関係や逆関数の性質を考察することができる。工夫して式変形をし、数列や級数、関数の極限を考察することができる。導関数を接線、関数の増減、グラフなどに活用して考察できる。	関数の性質や極限の考え微分の考えを積極的に活用しようとする。	1	学期
		様々な関数の不定積分を求めることができ、定積分や定積分を活用した面積、体積、曲線の長さを求めることができる。	関数の形に着目して式を見たり変形したりすることで効率的に不定積分や定積分を求めることができる。図形の面積や体積を様々な積分法を用いて求めることができる。	積分法が微分法の逆演算であることから様々な関数の不定積分を求めようとする。定積分と面積を関連付けて理解を深めようとする。	1	学期
		関数の形に着目して式を見たり変形したりすることで効率的に不定積分や定積分を求めることができる。図形の面積や体積を様々な積分法を用いて求めることができる。	積分法が微分法の逆演算であることから様々な関数の不定積分を求めようとする。定積分と面積を関連付けて理解を深めようとする。	関数の形に着目して式を見たり変形したりすることで効率的に不定積分や定積分を求めることができる。図形の面積や体積を様々な積分法を用いて求めることができる。	期末	考查
入試基礎問題演習	数学Ⅲ入試問題の基礎を演習・解説 入試問題集「ベーシックスタイル数学演習Ⅲ・C」の基本問題を定着させる。	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	2	学期
		入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	中間	考查
		入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	2	学期
入試標準問題演習	数学Ⅲ入試問題の標準を演習・解説 入試問題集「ベーシックスタイル数学演習Ⅲ・C」の標準問題を定着させる。	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	2	学期
		入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	期末	考查
		入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	2	学期

入試標準問題演習	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの融合問題を演習・解説 入試過去問題の取り組み。 「ベーシックスタイル数学演習Ⅲ・C」 新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C」	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	3	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。		
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。		

教科	数学	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 数学C (数研出版)
科目	数学C	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	教科書傍用 4プロセス数学C (数研出版) チャート式 基礎からの数学Ⅲ+C (数研出版) ベーシックスタイル数学演習Ⅲ・C (数学出版) 新課程 キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C (数 学出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し, 演算方法やその図形的意味を考察する力, 図形や図形の構造に着目し, それらの性質を統一的・発展的に考察する力, 数学的な表現も用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考查	
			1	学期
第1章 平面上のベクトル 第1節ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 第2節ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示 第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し, 成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また, ベクトルの内積について理解し, 平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え, 空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また, それに関連して, 座標空間における点や図形について考察できるようにする。	知 ○有向線分を用いたベクトルの定義や表し方を理解している。 ○ベクトルの成分表示の仕組みを理解し, 具体的なベクトルを成分表示できる。また, そのベクトルの大きさを求めることができる。 ○点の位置を, 基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 ○直線のベクトル方程式について, 媒介変数を用いて表すことができる。	1	学期
		思 ○ベクトルの相等や逆ベクトルの定義を理解し, 図の中から探すことができる。 ○位置ベクトルを活用して, 図形の性質が考察できる。 ○ベクトルの平行条件を成分表示にも適用し, 成分を定めることができる。 ○点が線分AB上に存在する条件を活用して, 点Pの存在範囲を求めることができる。	中間	考查
		主 ○日常の量で, 向きと大きさをもつものがあることに興味をもち, それをベクトルで表現しようとする。 ○成分表示されたベクトルの演算法則を, ベクトルの演算法則から導き出そうとする。 ○図形のベクトル方程式について, 点の座標(x, y)についての方程式と関連させて考察し, それらの共通点などを見出そうとする。		

			<p>○双曲線の漸近線について、曲線が限りなく近づくことを確かめようとする。</p> <p>○曲線 $F(x-p, y-q)=0$ は曲線 $F(x, y)=0$ を平行移動したものであることを理解している。</p> <p>○複雑な方程式で表される2次曲線について、平行移動の考えを利用して調べようとする。</p> <p>○2次曲線の接線の方程式の一般形に興味をもち、自ら導出してみようとする。</p> <p>○曲線の媒介変数表示について、具体的に点をプロットしていくことで、どのような曲線か考察しようとする。</p> <p>○直交座標とは異なる方法で点の位置が表せることに興味をもち、それらの違いや共通点を自ら見出そうとする。</p>		
「ベーシックスタイル 数学演習Ⅲ・C」, 「キートレーニング 数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」 演習	入試問題の演習と解説	知	試験問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	2	学期
		思	入試問題に対して数量や図形の関係やを深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。		
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	期末	考查
入試問題演習	入試問題Ⅰ・Ⅱ・A・B総合問題演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	3	学期
		思	入試問題に対して数量や図形の関係やを深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。		
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。	学年末	考查

教科	数学	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 数学C (数研出版)
科目	数学C	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	教科書傍用 4プロセス数学C (数研出版) 新課程 キートレーニング数学演習 I・II・A・B・C (数 学出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

<p>・ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>・入試問題演習を通じて、数学の基本的な概念や原理法則を体系的に理解させ、事象を数学的に考察したりする力を養わせる。</p>	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算方法やその図形的意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現も用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期	考査	
		知	思	主		
第1章 平面上のベクトル 第1節ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 第2節ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示 第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。	知 ○有向線分を用いたベクトルの定義や表し方を理解している。 ○ベクトルの成分表示の仕組みを理解し、具体的なベクトルを成分表示できる。また、そのベクトルの大きさを求めることができる。 ○点の位置を、基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 ○直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表すことができる。	思 ○ベクトルの相等や逆ベクトルの定義を理解し、図の中から探すことができる。 ○位置ベクトルを活用して、図形の性質が考察できる。 ○ベクトルの平行条件を成分表示にも適用し、成分を定めることができる。 ○点が線分AB上に存在する条件を活用して、点Pの存在範囲を求めることができる。	主 ○日常の量で、向きと大きさをもつものがあることに興味をもち、それをベクトルで表現しようとする。 ○成分表示されたベクトルの演算法則を、ベクトルの演算法則から導き出そうとする。 ○図形のベクトル方程式について、点の座標(x, y)についての方程式と関連させて考察し、それらの共通点などを見出そうとする。	1	学期
		知 入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	思 入試問題に対して数量や図形の関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	主 数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたり	1	学期

			している。		
「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	2	学期
		思	入試問題に対して数量や図形の関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	中間	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。		
「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	2	学期
		思	入試問題に対して数量や図形の関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	期末	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。		
入試問題演習	入試問題Ⅰ・Ⅱ・A・B総合問題演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	3	学期
		思	入試問題に対して数量や図形の関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	学年末	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。		

教科	数学	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 数学C (数研出版)
科目	数学演習	必修 または 選択	必修 ①必修選択 自由選択	副教材 など	新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」(数 学出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」の範囲の問題を演習し、大学入試の標準的な問題を記述で解答できる能力を育てる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查	
		知	思	主		
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	2年次既習内容の確認と補足 入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	1	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	中	間	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	1	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	期	末	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	2	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	中	間	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
入試問題演習	入試問題Ⅰ・Ⅱ・A・B総合問題演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	2	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	期	末	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			

入試問題演習	入試問題 I・II・A・B 総合問題演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理解法を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	3	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	学年末	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。		

教科	数学	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 数学C (数研出版)
科目	数学基礎演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	数学 I・A+II・B・C 標準演習PLAN100
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

「数学I」, 「数学A」, 「数学II」, 「数学B」, 「数学C」の範囲の問題を演習し、大学入試の標準的な問題が解答できる能力を育てる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考查	
			知	1
数学 I・A+II・B・C 標準演習PLAN100	入試問題の演習と解説	知	1	学期
		思	中間	考查
		主		
数学 I・A+II・B・C 標準演習PLAN100	入試問題の演習と解説	知	1	学期
		思	期末	考查
		主		
数学 I・A+II・B・C 標準演習PLAN100	入試問題の演習と解説	知	2	学期
		思	中間	考查
		主		
入試問題演習	入試問題 I・II・A・B・C 総合問題演習と解説	知	2	学期
		思	期末	考查
		主		

入試問題演習	入試問題 I・II・A・B・C 総合問題演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理解法を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	3	学期
		思	入試問題に対して数量や図形の関係性を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	学 年 末	考 査
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。		

教科	数学	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 数学C (数研出版)
科目	数学総合演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」 (数学出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」の範囲の問題を演習し、大学入試の標準的な問題が解答できる能力を育てる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查	
		知	思	主		
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	2年次既習内容の確認と補足 入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。		1	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。		中間	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	2年次既習内容の確認と補足 入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。		1	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。		期末	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	2年次既習内容の確認と補足 入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。		2	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。		中間	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	2年次既習内容の確認と補足 入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。		2	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。		期末	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			

入試問題演習	入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理解法を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	3	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	学年末	考查
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。		

教科	数学	履修学年	3	教科書 (出版社)	高等学校 数学C (数研出版)
科目	数学発展演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」 (数学出版)
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」「数学C」の範囲の問題を演習し、大学入試の標準的な問題が解答できる能力を育てる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查	
		知	思	主		
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	2年次既習内容の確認と補足 入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	1	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	中	間	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	1	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	期	末	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
新課程「キートレーニング数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C」演習	入試問題の演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	2	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	中	間	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			
入試問題演習	入試問題Ⅰ・Ⅱ・A・B・C総合問題演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	2	学	期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	期	末	考
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。			

入試問題演習	入試問題 I・II・A・B 総合問題演習と解説	知	入試問題について基本的な概念や原理解法を体系的に理解し、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	3	学期
		思	入試問題に対して数量関係を深くとらえて事象を数学的に考察したりする力を養う。	学 年 末	考 査
		主	数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようしたりしている。		

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	物理 (数研出版)
科目	物理	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	2023新課程版セミナー物理基礎+物理
単位数	4				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

「物理基礎」までの学習を踏まえて、物理的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能	観察、実験などを行う中で養われる、科学的に探究する力	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期	
		知	思	主	考查	
(1) 様々な運動 (ウ) 円運動と単振動	㊦ 円運動…円運動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。 ㊧ 単振動…振り子に関する実験などを行い、単振動の規則性を見いだして理解するとともに、単振動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。	知	円運動と単振動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。		1	学期
		思	円運動と単振動について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。		中間	考查
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			
(1) 様々な運動 (エ) 万有引力	㊦ 惑星の運動…惑星の観測資料に基づいて、惑星の運動に関する法則を理解する。 ㊧ 万有引力…万有引力の法則及び万有引力による物体の運動について理解する。	知	万有引力について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。		1	学期
		思	万有引力について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。		中間	考查
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			
(1) 様々な運動 (オ) 気体分子の運動	㊦ 気体分子の運動と圧力…気体分子の運動と圧力との関係について理解する。 ㊧ 気体の内部エネルギー…気体の内部エネルギーについて、気体分子の運動と関連付けて理解する。 ㊨ 気体の状態変化…気体の状態変化に関する実験などを行い、熱、仕事及び内部エネルギーの関係を理解する。	知	気体分子の運動について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。		1	学期
		思	気体分子の運動について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。		期末	末
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			

(3) 電気と磁気 (ア) 電気と電流	<p>㉞ 電荷と電界…電荷が相互に及ぼし合う力を理解する。また、電界の表し方を理解する。</p> <p>㉟ 電界と電位…電界と電位との関係を静電気力による位置エネルギーと関連付けて理解する。</p> <p>㊱ 電気容量…コンデンサーの性質を理解するとともに、電気容量を電界や電位差と関連付けて理解する。</p> <p>㊲ 電気回路…電気回路に関する実験などを行い、電気回路における基本的な法則を理解する。</p>	知	電気と電流について、日常生活や社会と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。	1	学期
		思	電気と電流について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
(3) 電気と磁気 (イ) 電流と磁界	<p>㉞ 電流による磁界…電流がつくる磁界の様子を理解する。</p> <p>㉟ 電流が磁界から受ける力…電流が磁界から受ける力について理解する。</p> <p>㊱ 電磁誘導…電磁誘導に関する実験などを行い、磁束の変化と誘導起電力の向きや大きさとの関係を見いだして理解するとともに、電磁誘導の法則を理解する。また、交流の発生について理解する。</p> <p>㊲ 電磁波…電磁波の性質とその利用を理解する。</p>	知	電流と磁界について、日常生活や社会と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。	2	学期
		思	電流と磁界について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
(4) 原子 (ア) 電子と光	<p>㉞ 電子…電子の電荷と質量について理解する。</p> <p>㉟ 粒子性と波動性…電子や光の粒子性と波動性について理解する。</p>	知	電子と光について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。	2	学期
		思	原子について、観察、実験などを通して探究し、電子と光における規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
(4) 原子 (イ) 原子と原子核	<p>㉞ 原子とスペクトル…原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位との関係について理解する。</p> <p>㉟ 原子核…原子核の構成、原子核の崩壊及び核反応について理解する。</p> <p>㊱ 素粒子…素粒子の存在について知る。</p>	知	原子と原子核について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。	2	学期
		思	原子について、観察、実験などを通して探究し、原子と原子核における規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
				期末	考查

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	物理 (数研出版)
科目	物理演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	2023新課程版セミナー物理基礎+物理
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

「物理 (4単位)」の学習を踏まえて、関連する演習問題に取り組むことなどを通して、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解	演習問題に取り組む中で養われる、科学的に探究する力	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查	
		知	思	主		
(1) 様々な運動 (ウ) 円運動と単振動	㉞ 円運動…円運動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。 ㉟ 単振動…単振動の規則性を見いだして理解するとともに、単振動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。	知	円運動と単振動について理解するとともに、それらの演習問題を解くことができる。	1	学期	
		思	円運動と単振動について、演習問題などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。	中間	考查	
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			
(1) 様々な運動 (エ) 万有引力	㊲ 惑星の運動…惑星の観測資料に基づいて、惑星の運動に関する法則を理解する。 ㊳ 万有引力…万有引力の法則及び万有引力による物体の運動について理解する。	知	万有引力について理解するとともに、それらのそれらの演習問題を解くことができる。。	1	学期	
		思	万有引力について、演習問題などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。	中間	考查	
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			
(1) 様々な運動 (オ) 気体分子の運動	㊴ 気体分子の運動と圧力…気体分子の運動と圧力との関係について理解する。 ㊵ 気体の内部エネルギー…気体の内部エネルギーについて、気体分子の運動と関連付けて理解する。 ㊶ 気体の状態変化…熱、仕事及び内部エネルギーの関係を理解する。	知	気体分子の運動について理解するとともに、それらのそれらの演習問題を解くことができる。。	1	学期	
		思	気体分子の運動について、演習問題などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。	期末	末	
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。			

(3) 電気と磁気 (ア) 電気と電流	<p>㉞ 電荷と電界…電荷が相互に及ぼし合う力を理解する。また、電界の表し方を理解する。</p> <p>㉟ 電界と電位…電界と電位との関係を静電気力による位置エネルギーと関連付けて理解する。</p> <p>㊱ 電気容量…コンデンサーの性質を理解するとともに、電気容量を電界や電位差と関連付けて理解する。</p> <p>㊲ 電気回路…電気回路における基本的な法則を理解する。</p>	知	電気と電流について、日常生活や社会と関連付けて理解するとともに、それらのそれらの演習問題を解くことができる。。	1	学期
		思	電気と電流について、演習問題などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
(3) 電気と磁気 (イ) 電流と磁界	<p>㉞ 電流による磁界…電流がつくる磁界の様子を理解する。</p> <p>㉟ 電流が磁界から受ける力…電流が磁界から受ける力について理解する。</p> <p>㊱ 電磁誘導…磁束の変化と誘導起電力の向きや大きさとの関係を見いだして理解するとともに、電磁誘導の法則を理解する。また、交流の発生について理解する。</p> <p>㊲ 電磁波…電磁波の性質とその利用を理解する。</p>	知	電流と磁界について、日常生活や社会と関連付けて理解するとともに、それらのそれらの演習問題を解くことができる。。	2	学期
		思	電流と磁界について、演習問題などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
(4) 原子 (ア) 電子と光	<p>㉞ 電子…電子の電荷と質量について理解する。</p> <p>㉟ 粒子性と波動性…電子や光の粒子性と波動性について理解する。</p>	知	電子と光について理解するとともに、それらのそれらの演習問題を解くことができる。。	2	学期
		思	原子について、演習問題などを通して探究し、電子と光における規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
(4) 原子 (イ) 原子と原子核	<p>㉞ 原子とスペクトル…原子の構造及びスペクトルと電子のエネルギー準位との関係について理解する。</p> <p>㉟ 原子核…原子核の構成、原子核の崩壊及び核反応について理解する。</p> <p>㊱ 素粒子…素粒子の存在について知る。</p>	知	原子と原子核について理解するとともに、それらのそれらの演習問題を解くことができる。。	2	学期
		思	原子について、演習問題などを通して探究し、原子と原子核における規則性や関係性を見いだして表現している。		
		主	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	化学 (啓林館)
科目	化学	必修 または 選択	必修	副教材 など	セミナー化学 (第一学習社)
単位数	4		必修選択 自由選択		化学重要問題集 (数研出版) 新課程版スクエア最新化学図説 (第一学習社)

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考査	
		知	思	1	学期
第2部「物質の変化と平衡」 第4章 化学平衡	1. 化学平衡と電離平衡 可逆反応、化学平衡及び化学平衡の移動を理解する。 2. 電離平衡 水のイオン積とpH、弱酸や弱塩基の電離平衡、難溶性の溶解平衡について理解する。	知	化学平衡の条件変化による移動について理解することができる。 電離定数をもとにして、電離平衡について理解することができる。	1	学期
		思	ルシャトリエの原理をもとに化学平衡の移動について考えることができる。 弱酸や弱塩基の電離定数をもとに水溶液のpHを求めることができる。また、緩衝液や円の加水分解、難溶性の塩の溶解について説明できる。	中間	考査
		主	化学平衡の状態やそのときの各成分の量的関係、条件の変化に伴う量的変化などについて調べようとする。		
第3部「無機物質」 第1章 周期表と元素の分類	1. 周期表と元素の分類 周期表の位置と元素の分類及び性質との関係について理解する。	知	周期表の位置と元素の分類との関係及び、性質との関係について理解することができる。 電子の軌道と周期表の関係について理解することができる。	1	学期
		思	元素の性質を周期表の位置と関連づけて考えることができる。	中間	考査
		主	周期表について学び、元素の分類について考えたり、調べたりしようとする。		
第2章 非金属元素	1. 水素と貴ガス 水素の単体及び、18族元素の貴ガスの単体の性質を理解する。 2. ハロゲン 17族元素のハロゲンの単体及び、その化合物の性質を理解する。 3. 酸素・硫黄 周期表16族の非金属元素の単	知	水素・貴ガスの性質について理解することができる。 ハロゲンとその化合物の性質について理解することができる。 酸素・硫黄とその化合物の性質について理解することができる。 窒素・リンとその化合物の性質について理解することができる。 炭素・ケイ素とその化合物の性質について理解することができる。	1	学期

	<p>体及び、その化合物の性質を理解する。</p> <p>4. 窒素・リン 周期表15族の非金属元素の単体及び、その化合物の性質を理解する。</p> <p>5. 炭素・ケイ素 周期表14族の非金属元素の単体及び、その化合物の性質を理解する。</p>	<p>思</p> <p>貴ガスの性質を電子配置と関連付けて考えることができる。 ハロゲンとその化合物の性質を、電子配置や酸塩基、酸化還元などと関連づけて考えることができる。 酸素・硫黄とその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。 窒素・リンとその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。 炭素・ケイ素とその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。</p>	中間・期末	考查
	<p>主</p> <p>水素・貴ガスについて、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 ハロゲンの単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 酸素・硫黄の単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 窒素・リンの単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 炭素・ケイ素の単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。</p>			
第3章 典型金属元素	<p>1. アルカリ金属 水素以外の1族元素のアルカリ金属の単体及び、その化合物の性質を理解する。</p> <p>2. アルカリ土類金属 2族元素の単体及び、その化合物の性質を理解する。</p> <p>3. アルミニウム アルミニウムの単体及び、化合物の性質を理解する。</p> <p>4. スズ・鉛 スズ・鉛の単体及び、化合物の性質を理解する。</p>	<p>知</p> <p>アルカリ金属とその化合物の性質について理解することができる。 アルカリ土類金属とその化合物の性質について理解することができる。アルカリ金属とアルカリ土類金属の単体や化合物の性質を調べることができる。 アルミニウムとその化合物の性質について理解することができる。 スズ・鉛とその化合物の性質について理解することができる。</p>	1	学期
		<p>思</p> <p>アルカリ金属とその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。 アルカリ土類金属とその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。 アルミニウムとその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元などと関連づけて考えることができる。 スズ・鉛とその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元、溶解度などと関連づけて考えることができる。</p>	期末	考查
		<p>主</p> <p>アルカリ金属の単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 アルカリ土類金属の単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 アルミニウムの単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 スズ・鉛の単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。</p>		
第4章 遷移元素	<p>1. 遷移元素 遷移元素の単体と化合物の性質や反応について理解する。</p> <p>2. 金属イオンの分離と確認 金属陽イオンの特定や陰イオンとの反応、分離と確認について理解する。</p>	<p>知</p> <p>遷移元素の特徴及び、亜鉛、水銀、銅、銀、鉄、クロム、マンガン、コバルトとそれらの化合物の性質について理解することができる。 金属イオンを分離し、確認する方法について理解することができる。金属イオンを分離の方法について、調べることができる。</p>	1	学期
		<p>思</p> <p>遷移元素とその化合物の性質を、電子配置や酸・塩基、酸化・還元、溶解度などと関連づけて考えることができる。 金属陽イオンが特定の陰イオンとの反応により分離できることを、理由を述べて表現することができる。</p>	期末	考查
		<p>主</p> <p>遷移元素の単体及び化合物について、それらの反応や性質を考えたり、調べたりしようとする。 金属イオンの分離の方法について調べようとする。</p>		

第4部 有機化合物 第1章 有機化合物の特徴と分類	1. 有機化合物の特徴と分類 有機化合物の特徴と分類を理解する。 2. 有機化合物の分析 元素分析により、組成式・分子式・構造式が決定されることを理解する。	知	有機化合物の特徴と分類について理解することができる。 有機化合物の分析について理解することができる。	2	学期		
		思	有機化合物の特徴と分類を考慮することができる。 元素分析により、組成式・分子式・構造式が決定されることについて考えることができる。			中間	考查
		主	有機化合物の一般的な性質や構造を理解し、分類や分析の仕方を調べようとする。 成分元素の検出について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。				
第2章 脂肪族炭化水素	1. 飽和炭化水素 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連づけて理解する。 2. 不飽和炭化水素 不飽和炭化水素、官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について理解する。	知	飽和炭化水素とその性質、反応について理解することができる。 不飽和炭化水素とその性質、反応について理解することができる。	2	学期		
		思	脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連づけて考えることができる。 官能基をもつ脂肪族化合物の性質や反応について考えることができる。			中間	考查
		主	有機化合物の基本的な化合物である炭化水素のうち、鎖式炭化水素と脂環式炭化水素の構造と性質を調べようとする。 不飽和炭化水素や、官能基をもつ脂肪族化合物の構造と性質を調べようとする。				
第3章 酸素を含む脂肪族化合物	1. アルコールとエーテル アルコールの分類や性質とエーテルの性質について理解する。 2. アルデヒドとケトン アルデヒドの性質とケトンについて理解する。 3. カルボン酸 カルボン酸の構造や性質、胸像異性体について理解する。 4. エステルと油脂 エステルと油脂の構造や性質について理解する。	知	アルコールとエーテルの性質、反応について理解することができる。 アルデヒドとケトンの性質、反応について理解することができる。 カルボン酸の性質、反応について理解することができる。 エステルと油脂の性質、反応について理解することができる。	2	学期		
		思	アルコールの分類や性質とエーテルの性質を考慮することができる。 アルデヒドの性質とケトンの性質について考えることができる。 カルボン酸の構造や性質、光学異性体について考えることができる。 エステルや油脂の構造、性質について考えることができる。			中間	考查
		主	酸素を含む有機化合物であるアルコールやエーテルについて、構造や性質を調べようとする。 酸素を含む有機化合物であるアルデヒド、ケトンについて、構造や性質を調べようとする。 酸素を含む有機化合物であるカルボン酸について、構造や性質を調べようとする。 酸素を含む有機化合物であるエステルと油脂について、構造や性質を調べようとする。				
第4章 芳香族化合物	1. 芳香族炭化水素 芳香族炭化水素の構造、性質や反応について理解する。 2. 酸素を含む芳香族化合物 酸素を含む芳香族化合物の構造、性質や反応について理解する。	知	芳香族炭化水素の性質、反応について理解することができる。 酸素を含む芳香族化合物の性質、反応について理解することができる。 窒素を含む芳香族化合物の性質、反応について理解することができる。 有機化合物の分離について理解することができる。	2	学期		

	<p>3. 窒素を含む芳香族化合物 窒素を含む芳香族化合物の構造、性質や反応について理解する。</p> <p>4. 有機化合物の分離 有機化合物の性質を利用し、混合溶液の分離が可能であることを理解する。</p>	<p>思 芳香族炭化水素の構造、性質や反応を考えることができる。 酸素を含む芳香族化合物(フェノール類、芳香族カルボン酸など)の構造、性質や反応について考えることができる。 窒素を含む芳香族化合物(芳香族アミンなど)の構造、性質や反応について考えることができる。 有機化合物の性質を利用し、混合溶液の分離を考えることができる。</p> <p>主 芳香族炭化水素の性質を調べようとする。 酸素を含む芳香族化合物の性質を調べようとする。 窒素を含む芳香族化合物の性質を調べようとする。 有機化合物の分離方法について調べようとする。</p>	中間	考查
第5部 高分子化合物 第1章 高分子化合物	1. 高分子化合物の分類と特徴 高分子化合物の分類や特徴を理解する。	知 高分子化合物の分類と特徴について理解することができる。	2	学期
		思 高分子化合物の分類、合成及び特徴を考えることができる。	期末	考查
		主 生活や生命に関わる高分子化合物の基礎的な分類、特徴を調べようとする。		
第2章 天然高分子化合物	<p>1. 糖類 糖の種類と構造、性質について理解する。</p> <p>2. タンパク質 タンパク質を構成する主なアミノ酸の種類や、構造、性質を理解する。また、タンパク質の高次構造や性質について理解する。</p> <p>3. 核酸 遺伝情報の伝達の中心的な役割を果たしている、高分子化合物である核酸の構造と複製の仕組みを理解する。</p>	知 糖類について理解することができる。 タンパク質について理解することができる。タンパク質中の窒素や硫黄を検出し、タンパク質の構成元素を調べ、タンパク質の呈色反応や変性などの化学的性質を調べることができる。 生物の細胞にある核酸について理解することができる。	2	学期
		思 糖の種類と構造、性質について考えることができる。 タンパク質を構成する主なアミノ酸の種類や、構造、性質を考えることができる。また、タンパク質の高次構造や性質について考えることができる。 核酸の構造と複製の仕組みを考えることができる。	期末	考查
		主 デンプンやセルロースなどの天然高分子化合物と、それを構成している化合物の構造や性質について、化学的に調べようとする。 タンパク質と、それを構成している化合物の構造や性質について、化学的に調べようとする。 核酸の構造や性質について、化学的に調べようとする。		
第3章 合成高分子化合物	<p>1. 高分子化合物の合成 合成高分子化合物の分類、合成及び特徴を理解する。</p> <p>2. 合成繊維 合成繊維の構造、性質及び合成について理解する。</p> <p>3. プラスチック(合成樹脂) 熱や圧力を加えることによって目的とする形に成形することができる性質をもつ高分子材料であるプラスチックの種類、性質を理解する。</p> <p>4. ゴム 大きな弾性をもった高分子化合物であるゴムの種類、構造、性質を理解する。</p> <p>5. 生活で利用されている合成樹脂 生活で利用されている合成高分子の種類、構造、性質を理解する。</p>	知 高分子化合物の合成について理解することができる。 合成繊維について理解することができる。 プラスチックについて理解することができる。 ゴムについて理解することができる。 生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質について理解することができる。	2	学期
		思 合成高分子化合物の合成について考えることができる。 合成高分子化合物の構造、性質及び合成について考えることができる。 高分子材料であるプラスチックの種類、性質を考えることができる。 ゴムの種類、構造、性質を考えることができる。 生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質を考えることができる。	期末	考查
		主 高分子化合物の合成について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。 合成繊維の種類とその性質について調べようとする。 プラスチックの種類とその性質について調べようとする。 ゴムの種類とその性質について調べようとする。 生活で利用されている合成樹脂の種類、構造、性質について調べようとする。		

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	化学 (啓林館)
科目	化学演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	ビーライン化学 (第一学習社)
単位数	2				化学重要問題集 (数研出版)

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

この講座は、共通テストや国公立2次・私大で化学(化学基礎分野も含む)を使用する予定の人を対象とし、演習を通して、大学入試問題の得点力をつけることを目標とする。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	知識の習得や知識の概念的な理解、実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考査	
		知	思	主		
物質の構成	物質の構成 周期表 化学結合 物質質量	知	「物質の構成」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。		1	学期
		思	「物質の構成」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「物質の構成」に関して興味をもって調べ、学習ができる。			
物質の変化	酸塩基 酸化還元	知	「物質の変化」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。		1	学期
		思	「物質の変化」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「物質の変化」に関して興味をもって調べ、学習ができる。			
物質の状態	固体の構造 物質の三態と気体の性質 溶液の性質	知	「物質の状態」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。		1	学期
		思	「物質の状態」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「物質の状態」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		期末	
物質の変化と平衡	物質とエネルギー 電池・電気分解 化学反応の速さ 化学平衡	知	「物質の変化と平衡」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。		1	学期
		思	「物質の変化と平衡」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		期末	考査
		主	「物質の変化と平衡」に関して興味をもって調べ、学習ができる。			
無機物質	非金属元素の単体と化合物 金属元素の単体と化合物	知	「無機物質」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。		2	学期
		思	「無機物質」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「無機物質」に関して興味をもって調べ、学習ができる。			
有機化合物	脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物 芳香族化合物	知	「有機化合物」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。		2	学期
		思	「有機化合物」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「有機化合物」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		期末	
高分子化合物	天然高分子化合物 合成高分子化合物	知	「高分子化合物」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。		2	学期

		思	「高分子化合物」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。	期 末 考 査
		主	「高分子化合物」に関して興味をもって調べ、学習ができる。	

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	生物 (実教出版)
科目	生物	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	スクエア最新図説生物 セミナー生物
単位数	4				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。	知識及び技能 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。	思考力・判断力・表現力等 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	主体的に取り組む態度 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
---	--	---	--

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查	
		知	思		
2章 生命現象と物質 1節 細胞と分子 1 細胞を構成する物質 2 生体膜の働きと細胞 2節 生命現象とタンパク質 1 タンパク質の構造と機能 2 酵素として働くタンパク質 3 物質の輸送や情報伝達に働くタンパク質 3節 代謝 1 代謝 2 呼吸と醗酵 3 光合成	生体物質と細胞に関する資料に基づいて、細胞を構成する物質を細胞の機能と関連づけて理解する。 生命現象とタンパク質に関する観察、実験などを行い、タンパク質の機能を生命現象と関連づけて理解する。 呼吸に関する資料に基づいて、細胞を構成エネルギーの流れと関連づけて理解する。 光合成に関する資料に基づいて、光合成をエネルギーの流れと関連づけて理解する。	知 生体膜の構造を理解している 細胞の構造を理解している タンパク質の構造を理解している 酵素の性質を理解しちえいる 輸送タンパク質について理解している 受容体のしくみを理解している 呼吸の経路を理解している 呼吸と醗酵の関係を理解している 葉緑体の構造を理解している 光合成のしくみを理解している 緑葉の色素を分離できる C3植物C4植物について理解している	思 生体物質の特徴を考察できる 細胞骨格の働きを考察できる タンパク質の構造と働きの関係を考察できる 実験に基づいて酵素の性質を見出せる 資料から酵素の阻害物質の働きを説明できる 輸送タンパク質の違いを説明できる さまざまな受容体について説明できる 代謝とエネルギーの関係を説明できる 呼吸におけるATP合成のしくみを説明できる 光合成におけるATP合成のしくみを説明できる 資料に基づきカルビン回路を説明できる	主 グラフから酵素反応の特徴を見出そうとする 呼吸と醗酵の関係を見出そうとする 呼吸と光合成の関係を見出そうとする 光合成式のの違いから系統を推理しようとする 実験や観察を主体的に進めようとしている 授業内容や思考内容を記録し整理する	中間・ 1学期 期末 考查
3章 遺伝情報の発現と発生 1節 遺伝情報とその発現 1 DNAと染色体 2 DNAの複製 3 遺伝子の発現 4 遺伝子の発現調節	DNAの複製に関する資料に基づいて、DNAの複製のしくみ理解する。また、遺伝子発現に関する資料に基づいて、遺伝子の発現のしくみを理解する。	知 DNAの構造を理解している DNA複製のしくみを理解している 転写と翻訳について理解している 遺伝暗号表が読める 発現調節のしくみを理解している 配偶子形成のしくみを理解している 初期発生の過程を理解している カエルの器官形成について理解している 神経誘導のしくみを理解している			1学期 期末 考查

<p>2節 発生と遺伝子発現</p> <p>1 動物の配偶子形成と受精 2 初期発生の過程 3 発生のおしきと遺伝子発現 4 形態形成と遺伝子の発現調節</p> <p>3節 遺伝子を扱う技術</p> <p>1 バイオテクノロジー 2 バイオテクノロジーの応用</p>	<p>遺伝子との発現調節に関する資料に基づいて、遺伝子の発現が調節されていることを見出して理解する。また、転写の調節をそれにかかわるタンパク質と関連づけて理解する。</p> <p>発生に関わる遺伝子の発現に関する資料に基づいて、発生の過程における分化を遺伝子発現の調節関連づけて理解すること。</p> <p>遺伝子を扱う技術について、その原理と有用性を理解する。</p>	<p>思</p> <p>主</p>	<p>ショウジョウバエの体節形成を理解している Hox遺伝子群の働きを理解している 遺伝子組換えのおしきを理解している PCR法について理解している</p> <p>実験からDNA複製のおしきを見出せる 実験から一遺伝子一酵素説を見出せる 遺伝暗号表をどのように作成したかがわかる 実験に基づきオペロン説について考察できる トリプトファンオペロンを説明できる 資料から頭尾軸形成のおしきを推論できる 資料から誘導のおしきを推論できる 遺伝子組換えの方法を具体的に説明できる 電気泳動結果から塩基配列を決定できる 遺伝子組換えの課題を考察できる</p> <p>DNA複製のおしきを調べようとしている 遺伝子発現調節のおしきを見出そうとする 受精や発生の過程を観察しようとする 誘導のおしきの調べる実験を考案する 遺伝子組み換えの応用方法を考察しようとする 実験や観察を主体的に進めようとしている 授業内容や思考内容を記録し整理する</p>	<p>2 学期</p>	<p>中間 考査</p>
<p>5章 生態と環境</p> <p>1節 個体群と生物群集</p> <p>1 個体群とその性質 2 個体群内の相互作用 3 異種個体群間の相互作用</p> <p>2節 生態系</p> <p>1 生態系の物質生産 2 物質循環とエネルギーの流れ 3 生態系と人間生活</p>	<p>個体群内の相互作用に関する観察、実験などを行い、個体群が維持されるおしきや個体間の関係性を見出して理解する。</p> <p>個体群間の相互作用に関する資料に基づいて、生物群集が維持される仕組みや個体群間の関係性を見出して理解する。</p> <p>生態系の物質循環に関する資料に基づいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連付けて理解すること。</p> <p>生態系と人間生活に関する資料に基づいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見出して理解する。</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>個体群について理解している 個体群の成長曲線について理解している 個体群内の関係性を理解している 社会性昆虫について理解している 種間競争について理解している 生態系内の物質の流れを理解している 窒素循環について理解している 生物多様性の意義を理解している 生態系を保全する方法を理解している</p> <p>実験から個体群の大きさを推論できる 資料から密度効果の存在を見出せる グラフから最適な縄張りの大きさを推論できる 血縁度の求め方を理解できる 実験から個体群間の相互作用を見出せる 窒素同化と窒素固定の違いを説明できる 生態系の物質収支を計算できる 生態系の保全に必要なことを考察できる</p> <p>グラフから個体群間の関係を見出そうとする 包括適応度について考察しようとする 生命表の内容を読み取ろうとしている 生物多様性の重要性を理解しようとしている 生態系を保全しようとする態度がみられる 実験や観察を主体的に進めようとしている 授業内容や思考内容を記録し整理する</p>	<p>2 学期</p>	<p>中間・ 期末 考査</p>
		<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>		<p>3 学期</p>	<p>学年 末 考査</p>

科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	生物 (実教出版)
科目	生物演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	スクエア最新図説生物 セミナー生物 セミナー生物基礎
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

この講座は、受験科目として生物を使用する予定の人 (医療・看護系、理学系、農学系、化学系、家政系など) を対象としている。主に演習を行って、大学入試問題の得点力をアップさせることがねらいである。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために基本的な技能に関する知識を身につける。	入試問題では、これまで学んだ知識を駆使しながら、それらを総合して思考し、判断することが求められる。問題演習を通じてそれらを育成する。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查	
		知	思		
生物基礎 1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー 2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成 3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫 4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全	生物基礎の内容に関わり、問題演習を通じて、基礎知識の確認を行う。 グラフや資料に基づいて、推論をしたり考察を行う演習を行う。 基本的な計算問題を行い、内容の理解を深め、計算問題に習熟する。 実際の大学入試問題に触れ、実践的な理解力や考察力を高める。	知 生物の多様性と共通性について理解している。 生物とエネルギーの関係を理解している。 DNAの構造と複製について理解している。 DNAとタンパク質の関係を理解している。 体内環境維持について理解している。 免疫のしくみを理解している。 植生の遷移のしくみを理解している。 バイオームと環境の関係を理解している。	思 資料から生物とエネルギーの関係を考察できる。 資料からDNAとタンパク質の関係を考察できる。 資料から体内環境維持のしくみを考察できる。 資料から免疫のしくみを考察できる。 資料から遷移のしくみを考察できる。 資料から環境とバイオームの関係を考察できる。	1 学期	中間・ 期末 考查
		主 生物の多様性の重要性を考察しようとする。 DNAの働きを理解しようとする。 体内環境維持のしくみを理解しようとする。 免疫の重要性を理解しようとする。 遷移のしくみを考察しようとする。 生態系保全の重要性を考察しようとする。			
		知 進化のしくみを理解している。 生物の系統を理解している。 動物の環境応答について理解している。 植物の環境応答について理解している。 タンパク質の働きを理解している。 呼吸と光合成について理解している。 DNAの構造と複製について理解している。 遺伝情報の発現と発生の関係を理解している。 バイオテクノロジーについて理解している。 生態系について理解している。	思 資料から生物と系統と進化を考察できる。 資料から環境応答のしくみを考察できる。 資料から呼吸や光合成のしくみを考察できる。 資料からDNAの働きを考察できる。 資料から発生のしくみを考察できる。 資料から生態系について考察できる。		
1. 生物の進化 2. 生物の系統と進化 8. 動物の反応と行動 9. 植物の成長と環境応答 3. 細胞と分子 4. 代謝 5. 遺伝情報とその発現 6. 遺伝子の発現調節と発生	生物の内容に関わり、問題演習を通じて、基礎知識の確認を行う。 グラフや資料に基づいて、推論をしたり考察を行う演習を行う。 基本的な計算問題を行い、内容の理解を深め、計算問題に習熟する。 実際の大学入試問題に触れ、実践的な理解力や考察力を高める。				

<p>7. 遺伝子を扱う技術とその応用</p> <p>10. 生態系のしくみ</p>		主	<p>系統と進化について考察しようとする。 環境応答のしくみを理解しようとする。 DNAの働きを理解しようとする。 発生のしくみを理解しようとする。 生態系のしくみを考察しようとする。</p>		
<p>特別編成授業</p>	<p>看護受験対策 センター試験対策 私立大学対策 国公立二次対策 大学入試過去問 大学入試実戦問題</p>	<p>知</p> <p>思</p>		<p>3 学 期</p>	<p>学 年 末 考 査</p>

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	物理基礎 (数件出版)
科目	物理基礎演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	リードLight物理基礎
単位数	1				セミナー物理基礎+物理 新課程 大学入学共通テスト対策チェック&演習 物理基礎

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

共通テストで受験科目として物理基礎を使用する予定の生徒を対象としている。演習を行って、大学入試問題の得点力をアップさせることがねらいである。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解をし、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能に関する知識を身につける。	観察、実験などを行う中で養われる、科学的に探究する力を身につけ、問題演習を通じてそれらの育成を行う。	物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考查
		知	思	主	
第一編 運動とエネルギー 第一章 運動の表し方 第二章 運動の法則	<ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動 加速度運動 落体の運動 力のつりあい 運動の法則 	知 物体の運動に関する概念や法則を理解し、知識を身に付けている。	思 力学的な現象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	主 身近な物体の運動に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	1 学期
第三章 仕事と力学的エネルギー 第二編 熱 第一章 熱とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 仕事 仕事とエネルギー 力学的エネルギー 熱の移動と保存 熱と仕事 	知 物体や分子のエネルギーに関する概念や法則を理解し、知識を身に付けている。	思 物体や分子の力学的な現象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	主 身近な物体のエネルギーに関心をもち、意欲的に探究しようとする。	1 学期 確認 テスト
第三編 波 第一章 波の性質 第二章 音	<ul style="list-style-type: none"> 波の表し方 波の重ね合わせ 音の性質 弦の振動 気柱の振動 	知 波動に関する概念や法則を理解し、知識を身に付けている。	思 波動現象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	主 身の回りの波動現象に関心をもち、その仕組みを意欲的に探究しようとする。	2 学期 確認 テスト
第四章 電気 第一章 物質と電気 第二章 磁場と交流 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> 電流と電圧 電気抵抗 抵抗の接続 電気とエネルギー 直流と交流 	知 電磁気に関する概念や法則を理解し、知識を身に付けている。	思 電磁気に関する現象を科学的に考察し、結果を適切に記録、整理している。	主 日常における電磁気に関する現象に関心をもち、その仕組みを意欲的に探求しようとする。	

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	化学基礎 (数研出版)
科目	化学基礎演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	ビーライン
単位数	1				セミナー化学基礎

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

この講座は、共通テストで受験科目として化学基礎を使用する予定の人（主に文系の国公立大学など）を対象としている。演習を行って、大学入試問題の得点力をアップさせることがねらいである。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	知識の習得や知識の概念的な理解, 実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において, 粘り強く学習に取り組んでいるか, 自ら学習を調整しようとしているか。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準			時期 考査	
		知	思	主		
物質の構成	物質の成分と構成元素	知	「物質の成分と構成元素」に関する基本的な知識の習得や理解ができています。		1	学期
		思	「物質の成分と構成元素」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「物質の成分と構成元素」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		中間	考査
	原子の構造と周期表	知	「原子の構造と周期表」に関する基本的な知識の習得や理解ができています。		1	学期
		思	「原子の構造と周期表」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「原子の構造と周期表」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		中間	考査
	化学結合	知	「化学結合」に関する基本的な知識の習得や理解ができています。		1	学期
		思	「化学結合」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「化学結合」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		中間	考査
物質の変化	物質質量と濃度	知	「物質質量と濃度」に関する基本的な知識の習得や理解ができています。		1	学期
		思	「物質質量と濃度」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		期末	考査
		主	「物質質量と濃度」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		期末	考査
	化学反応式	知	「化学反応式」に関する基本的な知識の習得や理解ができています。		1	学期
		思	「化学反応式」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		期末	考査
		主	「化学反応式」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		期末	考査
	酸と塩基	知	「酸と塩基」に関する基本的な知識の習得や理解ができています。		2	学期
		思	「酸と塩基」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。		中間	考査
		主	「酸と塩基」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		期末	
	酸化還元反応	知	「酸化還元反応」に関する基本的な知識の習得や理解ができています。		2	学期

		思	「酸化還元反応」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。	中間	考查
		主	「酸化還元反応」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		
	身のまわりの化学	知	「身のまわりの化学」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。	2	学期
		思	「身のまわりの化学」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。	中間	考查
		主	「身のまわりの化学」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		
総合問題	総合演習	知	「化学基礎全般」に関する基本的な知識の習得や理解ができている。	2	学期
		思	「化学基礎全般」に関して、修得した知識技能を活用して問題に取り組む。	期末	考查
		主	「化学基礎全般」に関して興味をもって調べ、学習ができる。		

教科	理科	履修学年	3	教科書 (出版社)	生物基礎 (実教出版)
科目	生物基礎演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	チェック&演習 生物基礎 セミナー生物基礎
単位数	1				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

この講座は、共通テストで受験科目として生物基礎を使用する予定の人（主に文系の国公立大学など）を対象としている。演習を行って、大学入試問題の得点力をアップさせることがねらいである。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために基本的な技能に関する知識を身につける。	入試問題では、これまで学んだ知識を駆使しながら、それらを総合して思考し、判断することが求められる。問題演習を通じてそれらの育成を行う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期	
		知	思	主	考査
1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー	さまざまな生物の比較を通じて、生物は多様でありながら共通性を持っていることを理解する。生物の共通性が生物の起源を共有することを関連付けて理解する。 生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。	知 生物の共通性を理解している。 真核細胞と原核細胞の共通点を理解している。 酵素の働きを理解している。 光合成の過程の概要を理解している。 呼吸の過程の概要を理解している。 呼吸や光合成とATPの関係を理解している。 顕微鏡を正しく使用できる。	思 観察を通じて、細胞の共通点を見出せる。 生物が共通性をもつ由来を説明できる。 資料や実験から酵素の性質を見出せる。 光合成や呼吸におけるATPの役割を説明できる。	主 生物が共通性をもつ理由を考えようとしている。 生命活動とエネルギーの関係を考察する。 授業内容や思考内容を記録し整理する。	1 学期
2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成	DNAの構造に関する資料に基づいて、DNAの特徴を理解する。 塩基の相補性とDNAの複製を関連付けて理解する。 遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を理解する。また、遺伝子とゲノムの関係を理解する。	知 DNAの構造の特徴を理解している。 DNAの複製のしくみを理解している。 細胞分裂の過程を理解している。 タンパク質と形質との関係を理解している。 遺伝子とタンパク質の関係を理解している。 ゲノムと遺伝子の関係を理解している。	思 DNA模型を製作しその特徴を説明できる。 DNA複製を塩基の相補性に基づいて説明できる。 資料から塩基とアミノ酸の関係を推論できる。 遺伝子の発現と細胞の分化の関係を説明できる。	主 資料からDNA複製のしくみを推論しようとする。 塩基配列とアミノ酸配列の関係を推論する。 授業内容や思考内容を記録し整理する。	1 学期 確認 テスト
3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫	体内環境やその調節に関わる実験や資料に基づいて、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解する。 体内環境の維持のしくみに関する資料に基づい	知 体液の構成とその働きについて理解している。 心臓の構造と働きを理解している。 血液凝固のしくみを理解している。 肝臓と腎臓の構造と働きを理解している。 自律神経系の働きを理解している。 内分泌系とホルモンの働きを理解している。 血糖量調節のしくみについて理解している。 自然免疫とそれにかかわる血球を理解している。			2 学期 確認 テスト

	<p>て、体内環境の維持と自律神経系やホルモンの働きとの関係を理解する。血糖量調節を主題に取り上げ、内分泌系と自律神経系との協調について理解する。</p> <p>免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを理解する。</p>		<p>獲得免疫とそれにかかわる血球を理解している。アレルギーや予防接種について理解している。</p> <p>資料に基づき体内環境の恒常性を見出す。グラフからヘモグロビンの働きを説明できる。資料から体内環境維持のしくみを考察できる。資料から糖尿病がおきるしくみを考察できる。資料に基づき白血球の役割を説明できる。自然免疫と獲得免疫の関係を説明できる。予防接種の重要性を説明できる。</p> <p>恒常性維持のしくみを考察しようとしている。免疫の働きについて考察しようとしている。授業内容や思考内容を記録し整理する。</p>	
<p>4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1節 植生と遷移</p> <p>2節 植生とバイオーム</p> <p>3節 生態系と生物の多様性</p> <p>4節 生態系のバランスと保全</p> <p>総合演習</p>	<p>植生の遷移に関する資料に基づいて、遷移のしくみを理解する。また、遷移の結果として成立する植生は、環境によって異なることを理解する。</p> <p>世界や日本には各地の気温や降水量と関連して多様なバイオームが成立することを理解する。</p> <p>生態系を構成する種同士の関係性を理解し、それと関連して、生態系における種多様性について理解する。</p> <p>生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する。また、生態系の保全の重要性を認識する。</p>	<p>知</p> <p>思</p> <p>主</p>	<p>生態系を構成する要素を理解している。植生の遷移とそのしくみを理解している。陽生植物と陰生植物の違いを理解している。日本と世界のバイオームについて理解している。生態系内の生物同士の関係を理解している。人間活動の環境への影響を理解している。環境保全の重要性を理解している。</p> <p>遷移と環境変化の関係を説明できる。光条件や土壌と植生の関係を考察できる。バイオームと環境条件との関係を考察できる。生態系における種多様性の重要性を説明できる。生態系のバランス維持のしくみを考察できる。生態系保全のために必要なことを説明できる。</p> <p>バイオームと環境要因との関係を考察しようとする。</p> <p>人間活動の生態系への影響を考察しようとする生態系の保全のために自分ができることについて、自ら考え行動しようとする。</p> <p>授業内容や思考内容を記録し整理する</p>	

教科	保健体育	履修学年	3	教科書 (出版社)	新高等保健体育 (大修館)
科目	体育	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	
単位数	3				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、計画的に運動に親しむ能力を身に付ける。また、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考査	
			1	2
体づくり運動	<p>(1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てること。</p> <p>ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと。</p> <p>イ 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、言ったり書き出したりしている。 <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 ・体づくり運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。 	1	学期
種目選択 (球技)	<p>(1) 様々なスポーツ・運動を通して、体を動かす楽しさや喜びを味わい、技能・体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを考え、個人・グループの能力に応じた授業の計画・実践・振り返りを行うことにより、生涯を通じて継続的に運動ができる知識・能力を育成し、実生活に役立てること。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法について、学習した具体例を挙げている。 <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択した種目について、グループや自己の動きを分析して、良い点や修正点について考え、授業計画を立てることができている。 ・グループでの活動の場面で、よりよいグループ活動を行うための方法や改善点を考え、仲間に伝えている。 <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ・自己の役割を果たし、グループ活動が円滑に進むための行動をしている。 	1 ・ 2 ・ 3	学期
水泳	<p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと。</p>	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方について、学習した具体例を挙げている。 ・水泳の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関 	1 ・ 2	学期

	<p>ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。</p> <p>オ 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすること。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>		<p>連させながら体力を高めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズムカルなキックを打つことができる。 ・抵抗の少ない肩幅程度の足の引き付けから、足先を外側にして直ちにキックをすることができる。 ・水平姿勢を維持しながら泳ぐことができる。 ・体のうねり動作に合わせたしなやかなドルフィンキックをすることができる。 ・各泳法に適した準備の姿勢から、スタートの合図と同時に力強く蹴りだし、抵抗の少ない姿勢で進行方向に体を伸ばすことができる。 	
		思	<ul style="list-style-type: none"> ・選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点とその理由を仲間に伝えている。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることにについて振り返っている。 ・練習や競技会などの場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を見付けている。 	
		主	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。 	

教科	外国語 (英語)	履修学年	3	教科書 (出版社)	LANDMARK English Communication III (啓林館)
科目	英語コミュニケーションⅢ	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	LANDMARK ワークブック (啓林館) Cutting edge (blue) (EMILE) 大学入試共通テスト対策 Reech 40/30 (美誠社)
単位数	4				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を読んだり、聞いたりして、その内容を捉えることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読んだり、聞いたりして、話し手の意図や概要、要点を捉えることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれていることや、話されることを聞くとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查		
		知	思	主		
Lesson 1 Incredible Edible Lesson 2 Blood Is Blood	地方再生の取り組み(Lesson1)と血液の研究と差別に生涯を捧げた黒人医師(Lesson2)についての文章を読み、内容を把握する。 本文を読み取り、自分の周囲に当てはめて、自分の意見を述べる。	知	英文の組み立て方や内容把握に必要な文法について十分に理解し、正しく活用している。		1	学期
		思	2つの特徴的な英文を読み、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。		中間	考查
		主	地方再生と医師についての英文を読み、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を理解し、意見を伝えようとしている。			
Lesson 3 Saving Our Treasures from the Sea Lesson 4 Men's Brains vs. Woman's Brain Lesson 5 Political Correctness	世界遺産を支える技術(Lesson 3)と男脳と女脳に違いはあるのか(Lesson4)と差別や偏見のない用語の利点と問題点(Lesson5)についての文章を読み、内容を把握する。 本文を読みとり、自分の考えを伝える。	知	英文の組み立て方や内容把握に必要な文法について十分に理解し、正しく活用している。差別や偏見についての基本的な知識を持っている。		1	学期
		思	最新技術と最新の研究についての英文を読み、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。また、差別や偏見について、配慮しながら、自分の意見を他者に伝えることができる。		期末	考查
		主	正解遺産を支える技術と最新の研究と差別・偏見についての英文を読み、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を理解し、意見を伝えようとしている。			
Reading 1 The Tablecloth Lesson 6 Jose Mujica: The World's President Lesson 7 Where Did Dongs Come from?	別れた夫婦を再び引き合わせたテーブルクロス(Reading1)と世界一貧しい大統領(Lesson 6)とどのように進化して犬は私たちの仲間になったのか(Lesson7)についての文章を読み、内容を把握する。 本文を読みとり、自分の考えを伝える。	知	英文の組み立て方や内容把握に必要な文法について十分に理解し、正しく活用している。		2	学期
		思	物語文と私たちの生活になじみのある犬についての英文を読み、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。		中間	考查
		主	物語文と私たちの生活のなじみのある犬についての英文を読み、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を理解し、意見を伝えようとしている。			
Lesson 8 The Story of My Life Lesson 9	サリバン先生とヘレン。ケラーの人間関係(Lesson8)と文化や伝統そのものである「言語」の	知	英文の組み立て方や内容把握に必要な文法について十分に理解し、正しく活用している。演説を読み、書かれている英語との違いを理解できる。		2	学期

Extinction of Languages Lesson 10 Light Pollution Reasing 2 They Are Us	消失(Lesson9)と「光害」がもたらす問題点(Lesson10)とジヤシнда・アーダーンの演説(Reading2)についての文章をよみ、内容を把握する。 本文を読みとり、自分の考えを伝える。	思	大学入試の大きなテーマである論説的な2つの英文を読み、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。 また、演説を聞いて、その内容を捉えている。	期末	考査
		主	論説文と演説を読み、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を理解し、意見を伝えようとしている。		
大学入試問題演習	大学入試共通テストや私立大学入試過去問題をもとに、その内容を正確にとらえ、選択問題や内容説明問題及び記述問題の解き方を活用し、文章を評価することを通して、考えを深める。	知	学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句を習得・活用し、文章の中で積極的に活用している。	3	学期
		思	「読むこと」において、作者や出題者の考えや目的、意図を捉えて内容を深く理解するとともに、文章の構成や展開、表現を理解している。		
		主	・積極的に文章を多面的・多角的な視点から考察し、学習課題に沿ってものの見方、感じ方、考え方を深め、本文全体を正しく読解して正解に到達しようとしている。 ・本文内容の正しい理解を踏まえて、自分の考えを深めるとともに、考えたことを的確にまとめようとしている。	学年末	考査
		知			学期
		思			考査
		主			

教科	英語	履修学年		教科書 (出版社)	Crown Logic and Expression III
科目	論理表現 III	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選択	副教材 など	Vintage 準拠実践問題集 Drive 入試発展 CLOVER 英文法・語法ランダム演習
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

<p>コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し、必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。</p> <p>2. 日常的话题や社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えること、伝え合うこと、文章で書いて伝えることができる。</p> <p>3. 大学受験に向けて、英語の基本的な構文、文法および語法について習得する。</p>	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項、対話の展開のしかたや論理構成、パラグラフの展開の仕方について理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、一定の支援を活用すれば、日常的话题や社会的な話題について、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合う、また、聞いたり読んだりしたことを基に、意見や主張などを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合い、書くことのできる技能を身につけている</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく口頭で話して伝え合い、書いて表現することもできる</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく口頭で話して伝え、伝え合おうとし、書いて伝えようとしている。</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて口頭で話して伝え、伝え合おうとし、書いて伝えようとしている。</p>

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準		時期 考查		
		知	思	主		
Lesson 1 Global Language	<p>「早期外国語教育」「英語以外の外国語学習」「消滅危機言語」に関する文章を読んで、言語の問題についてやり取りをし、言語の習得や言語そのものについての考えを深めることができる。</p> <p>「早期外国語教育」や「英語以外の外国語を学習」に関する自分の意見を複数の段落を用いて書くことができる。</p> <p>[Sや]「英語以外の外国語も学習すべきか」という問題について、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを、やり取りの表現を用いて詳しく伝え合うことができる。</p>	<p>文法面では「時制」「助動詞」「受動態」、機能表現面では「賛成・反対」を表す表現を理解している。</p>			1	学期
Lesson 2 Millennials' Consumption Trends		<p>[Sや]「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に応答したりしている。</p>			中間	考查
		<p>Sや]「英語以外の外国語を学習すること」をどう思うかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとし、相手からの質問に応答したりしようとしている。</p>				
Lesson 3 Space Odyssey	<p>「宇宙旅行」「宇宙開発」「小惑星探査機はやぶさ」をテーマとする資料などを通して、宇宙開発について、考えを深めることができる。</p> <p>「宇宙旅行」「宇宙開発」「小惑星探査機はやぶさ」について、論理的に考えを構成</p>	<p>文法面では「不定詞」「動名詞」「分態」、機能表現面では「例証」を表す表現を理解している。</p>			1	学期
Lesson 4 Art or Graffiti?		<p>[Sや]「サブスクリプション経済」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けている。</p>			期末	考查

	し、スピーチを行い、分からなかったことなどについて意見交換ができる。 [Sや]「宇宙開発の必要性」について、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを、やり取りの表現を用いて詳しく伝え合うことができる。	主	[Sや]「サブスクリプション経済」をどう思うかについて、主体的に考え、他者の様々な意見も参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して主体的に表現して詳しく伝えようとしたり、相手からの質問に回答したりしようとしている。				
Lesson 5 Media and Information Literacy	「バンクシーの作品」「クローン文化財」「芸術とは何か」をテーマとする記事などを通して、芸術について、考えを深めることができる。 「バンクシーの作品」「クローン文化財」「芸術とは何か」について、論理的に考えを構成し、プレゼンテーションを行い、分からなかったことなどについて意見交換ができる。 [Sや]「クローン文化財」について、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを、やり取りの表現を用いて詳しく伝え合い、討論することができる。 [S発]「バンクシーの作品」	知	文法面では「疑問詞」、機能表現面では「忠告・義務」「必要」「譲歩」を表す表現を理解している。	2	学期		
Lesson 6 Are you a Great Creative Thinker?		思	[Sや]「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを詳しく伝え合う技能を身に付けている。				
		主	[Sや]「メディアリテラシー」をどう考えるかについて、他者の様々な意見を参考にしながら、自分の意見を基本的な語彙や文法を活用して詳しく伝えたり、相手からの質問に回答したりしている。[S発]「血液型と性格について、論理展開に留意し、基本的な語彙や文法を活用して、読み手を意識した原稿を書き、それを発表している。			中間	
Lesson 7 Green Wisdom	「持続可能な観光」「エコツーリズム」「ヴァーチャル・ウォーター」をテーマとする文章を通して、環境問題について、考えを深めることができる。 「持続可能な観光」「エコツーリズム」「ヴァーチャル・ウォーター」について、論理的に考えを構成し、スピーチを行い、分からなかったことなどについて意見交換ができる。 基本的な語彙や文法を活用して、自分の考えを、やり取りの表現を用いて詳しく伝え合い、ディスカッションすることができる。 [S発]「持続可能な観光」の	知	文法面では「特殊構文」、機能表現面では「因果関係」を表す表現を理解している。	2	学期		
Lesson 8 What is Happiness?		思	[Sや]「SDGs」についての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え合い、質疑応答に応じる技能を身に付けている。				
		主	[Sや]「SDGs」についての考えを、やり取りの表現の機能に留意しながら、基本的な語彙や文法を活用して、詳しく伝え合い、質疑応答に応じる技能を身に付けている。			期末	考查
基本例文 手紙やメールで使われる表現	基本的表現を身に着ける。 手紙やメールの表現を習得する。 大学受験に対応できる文法演習	知	基本的例文を理解しているか。また大学レベルの文法を習得している。	3	学期		
		思	高校で身に着けるべき英語を使用して、ある程度の長さの英文が書ける。			学年末	考查
		主	英語で手紙やメールを語彙や文法において適切に書くことができる。				
		知			学期		

		思			考查
		主			

教科	外国語	履修学年	3	教科書 (出版社)	LANDMARKⅢ (啓林館)
科目	英語演習	必修 または 選択	必修 必修選 択 自由選択	副教材 など	アップリフト 英語長文読解 クローザー 頻出英文法 語法問題
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5領域において言語活動およびこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質。能力を養う。さらに大学入試問題レベルの英文や文法を理解できることを目標とする。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。日常的な話題や社会的な問題についての文等を読みたり読んだりして、その内容を捉える技能を身につけている。また、その内容について自分の意見を話したり、書いたり、伝えあったりする技能を身につけている。	日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を聞きたり読んだりして、話の展開や話し手の意図・概要・要点・詳細を捉えている。また、その内容について自分の意見を話したり、書いたり、伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることについて、聞きたり、読んだり、書いたり、話したり、伝えあったりしようとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考查	
Lesson1 Incredible Edible	【長文読解】 生活・人間関係 地球環境 【文法】 動詞の語法 時制 助動詞	知 人間の生活全般の英文を理解し、動詞や時制そして助動詞について理解している。	1	学期
Lesson2 Blood is Blood		思 地球環境や自然について、現在の状況や将来について考察することができる。	中間	考查
		主 地球環境や自然について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson3 Saving Our Treasures from the Sea	【長文読解】 文化・人間 自然・科学 【文法】 受動態 不定詞 動名詞	知 科学や文化についての英文を理解し、受動態や不定詞そして動名詞について理解している。	1	学期
Lesson 4 Men's Brains vs. Women's Brains		思 人間や文化について、現在の状況や将来について考察することができる。	期末	考查
		主 人間や文化について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson5 Political Correctness	【長文読解】 言語・コミュニケーション 情報・科学技術 【比較】 関係代名詞 接続詞 分詞	知 言語や情報の英文を理解し、関係詞や接続詞そして分詞について理解している。	2	学期
Lesson6 Jose Mujica: The world's Poorest President		思 科学技術や情報について、現在の状況や将来について考察することができる。	中間	
		主 科学技術や情報について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson7 Where Did Dogs Come from?	【長文読解】 社会・経済 医療・健康	知 社会や経済の英文を理解し、関係詞や接続詞そして分詞について理解している。	2	学期
Lesson8 The Story of My Life		思 医療や健康について、現在の状況や将来について考察することができる。	期末	考查

		主	医療や健康について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson 9 Extinction of languages	【長文読解】 倫理・哲学 【文法】 仮定法 倒置文	知	倫理や哲学の英文を理解し、関係詞や接続詞そして分詞について理解している。	3	学期
Lsson10 Light Pollution		思	倫理や哲学について、現在の状況や将来について考察することができる。	学年末	考查
		主	倫理や哲学について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
		知			学期
		思			考查
		主			

教科	外国語	履修学年	3	教科書 (出版社)	LANDMARKⅢ (啓林館)
科目	リーディング 演習	必修 または 選択	必修 必修選択 自由選 択	副教材 など	アップリフト 英語長文読解 クローザー 頻出英文法 語法問題
単位数	2				

1・学習の到達目標

2・重点的に育成すべき資質・能力

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5領域において言語活動およびこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質。能力を養う。さらに大学入試問題レベルの英文や文法を理解できることを目標とする。	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に取り組む態度
	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。日常的な話題や社会的な問題についての文等を読みたり読んだりして、その内容を捉える技能を身につけている。また、その内容について自分の意見を話したり、書いたり、伝えあったりする技能を身につけている。	日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞いたり読んだりして、話の展開や話し手の意図・概要・要点・詳細を捉えている。また、その内容について自分の意見を話したり、書いたり、伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることについて、聞いたり、読んだり、書いたり、話したり、伝えあったりしようとしている。

3・年間授業計画

知・知識及び技能 思・思考力・判断力・表現力等 主・主体的に取り組む態度

単元	学習内容・学習の狙い	評価規準	時期 考查	
			1	2
Lesson1 Incredible Edible Lesson2 Blood is Blood	【長文読解】 生活・人間関係 地球環境 【文法】 動詞の語法 時制 助動詞	知 人間の生活全般の英文を理解し、動詞や時制そして助動詞について理解している。	1	学期
		思 地球環境や自然について、現在の状況や将来について考察することができる。	中間	考查
		主 地球環境や自然について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson3 Saving Our Treasures from the Sea Lesson 4 Men's Brains vs. Women's Brains	【長文読解】 文化・人間 自然・科学 【文法】 受動態 不定詞 動名詞	知 科学や文化についての英文を理解し、受動態や不定詞そして動名詞について理解している。	1	学期
		思 人間や文化について、現在の状況や将来について考察することができる。	期末	考查
		主 人間や文化について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson5 Political Correctness Lesson6 Jose Mujica: The world's Poorest President	【長文読解】 言語・コミュニケーション 情報・科学技術 【比較】 関係代名詞 接続詞 分詞	知 言語や情報の英文を理解し、関係詞や接続詞そして分詞について理解している。	2	学期
		思 科学技術や情報について、現在の状況や将来について考察することができる。	中間	
		主 科学技術や情報について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson7 Where Did Dogs Come from? Lesson8 The Story of My Life	【長文読解】 社会・経済 医療・健康	知 社会や経済の英文を理解し、関係詞や接続詞そして分詞について理解している。	2	学期
		思 医療や健康について、現在の状況や将来について考察することができる。	期末	考查

		主	医療や健康について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
Lesson 9 Extinction of languages	【長文読解】 倫理・哲学 【文法】 仮定法 倒置文	知	倫理や哲学の英文を理解し、関係詞や接続詞そして分詞について理解している。	3	学期
Lsson10 Light Pollution		思	倫理や哲学について、現在の状況や将来について考察することができる。	学年末	考查
		主	倫理や哲学について、状況を掌握して問題を理解し、またその解決方法を英語で発信できる。。		
		知			学期
		思			考查
		主			

令和6年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(3学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1 学期	4	<課題研究Ⅰ> ①ガイダンス	①探究学習の目的・目標を再確認し、探究活動の概要について説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動への見通しを持つことができたか。 計画を立てることができたか。 探究課題(問い)を適切に設定できたか。 複数の方法を組み合わせ、自己の課題に合わせて情報収集できたか。 情報を適切に整理・分析し、結論を導き出せたか。 探究過程や結論を論文形式でまとめられたか。 サンドイッチ構造を意識したプレゼンテーションを行えたか。 全校生徒に分かりやすく伝えることができたか。 	12時間
		②探究計画書	②探究計画書を作成する。		
	5	③課題の設定	③興味関心や自己の進路とSDGsに関連する課題(問い)を設定する。		
		④情報の収集	④書籍・論文・マスメディア・統計データ・フィールドワークなど複数の方法で情報収集を行う。		
	6	⑤整理・分析	⑤集めた複数の情報を比較分類したり関係性を見つけ、結論を導き出す。		
		⑥まとめ・表現	⑥導き出した論理的な結論を資料等にまとめる。		
	7	⑦クラス内発表	⑦各クラス、8つのグループをつくり、グループ内で個人発表を行う。各グループの代表者はクラス全体の前で発表し、投票によりクラス代表を決定する。		
2 学期	9	<課題研究Ⅱ> ①入試概要	①総合型、学校推薦型、一般型選抜入試の流れを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 入試方法の概要を理解できたか。 出願に必要な書類を作成できたか。 出間計画書を作成できたか。 	14時間
	10	②出願書類の作成	②出願に必要な書類(活動報告書、願書等)の書き方を学ぶ。		
	11	③出願準備	③出願校の絞り込み及び出願スケジュールを計画する。		
3 学期	1	<課題研究Ⅱ> ④入試準備	・入試の心構えや注意事項などを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 入試に向けて準備が整えられたか。 卒業に向けて準備が整えられたか。 	9時間
	2	⑤卒業準備	・卒業に向けて3年間の高校生活を総括する		
配当時間数の合計					35時間